

第77回大分県民スポーツ大会 実施要項

期日 令和6年9月7日（土）・8日（日）・9日（月）



大会スローガン

『輝く汗 光る笑顔 県北から広がれ スポーツの輪』

主催	大分県・大分県教育委員会
	公益財団法人大分県スポーツ協会
	全分市町村教育委員会
	全分市町村教育委員会
後援	大分県合同分新放聞送
	NHKB大分放送
	TOA分朝日大
	エフエム朝日大

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

目 次

I	大分県民スポーツ大会開催基準要綱	1
II	第77回大分県民スポーツ大会実施要項	5
III	第77回大分県民スポーツ大会「大会日程と会場一覧」	6
IV	第77回大分県民スポーツ大会総合開・閉会式式典実施要領	7
V	違反に対する処分規程	8
VI	大分県民スポーツ大会表彰規程	11
VII	郡市対抗競技採点方法	12
VIII	雨天時の措置要領	16
IX	競技別実施要項	17
1	水 泳	17
2	陸 上 競 技	18
3	テ ニ ス	19
4	体 操	20
5	バスケットボール	21
6	ウエイトリフティング	22
7	卓 球	23
8	軟 式 野 球	24
9	相 撲	25
10	バドミントン	26
11	弓 道	27
12	ラグビーフットボール	28
13	自 転 車 競 技	29
14	ソ フ ト テ ニ ス	30
15	柔 道	31
16	剣 道	32
17	山 岳	33
18	サ ッ カ ー	34
19	ソ フ ト ボ ー ル	35
	議 員 ソ フ ト ボ ー ル	36
20	バ レ ー ボ ー ル	37
21	ハ ン ド ボ ー ル	38
22	ラ イ フ ル 射 撃	39
23	ク レ ー 射 撃	40
24	銃 剣 道	41
25	ボ ウ リ ン グ	42
26	セ ー リ ン グ	43
27	空 手 道	44
28	ア ー チェリ ー	45
29	ス キ ー	46
30	ゲ ー ト ボ ー ル	47
31	ゴ ル フ	48
32	レ ス リ ン グ	49
33	カ ヌ ー	50
34	な ぎ な た	51
35	フ ェ ン シ ン グ	52
36	グ ラ ウ ン ド ・ ゴ ル フ	53
37	綱 引	54
38	ボ ー ト	55
39	ホ ッ ケ ー	56
40	ボ ク シ ン グ	57
41	ス ケ ー ト	58
42	ア イ ス ホ ッ ケ ー	59
43	馬 術	60
44	武 術 太 極 拳	61
X	競技別エントリー数一覧表	62

I 大分県民スポーツ大会開催基準要綱

1 大会の趣旨

広く県民の間にスポーツを普及・振興させ、県民の健康増進と体力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の形成に資するとともに、地方文化の高揚と地域の活性化に寄与しようとするものである。

2 主 催

大分県民スポーツ大会（以下「大会」という）の主催者は、大分県・大分県教育委員会・公益財団法人大分県スポーツ協会・全市町村・全市町村教育委員会並びに全郡市スポーツ協会とする。

3 主 管

大分県民スポーツ大会実行委員会並びに公益財団法人大分県スポーツ協会加盟各競技団体とする。

4 大会の開催

(1) 大会は、毎年1回開催する。

(2) 大会は、ブロック持ち回り開催とし、次に示すブロックの範囲及び順番で開催する。ただし、事情により、開催が困難な場合は、別途、大分県民スポーツ大会実行委員会に諮り決定するものとする。

ブロックの範囲及び開催順は次のとおりとする。

- ① 県 北 （中津市・豊後高田市・宇佐市）
- ② 別 杵 （別府市・杵築市・国東市・速見郡・東国東郡）
- ③ 県 南 （佐伯市・臼杵市・津久見市）
- ④ 豊 肥 （竹田市・豊後大野市）
- ⑤ 久 大 （日田市・玖珠郡）
- ⑥ 大 分 （大分市・由布市）

5 開催時期及び会期

(1) 大会の時期は、冬季競技を除き9月中を原則とする。

(2) 大会の期間は、3日以内を原則とする。

(3) 災害等により、大会の中止、又は、期日を変更する場合は主催者等で協議のうえ、決定するものとする。

6 実施競技及び会場

(1) 実施競技は、次のとおりとする。

水泳・ボート・セーリング・陸上競技・サッカー・テニス・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車競技・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・柔道・ソフトボール・フェンシング・バドミントン・弓道・クレール射撃・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・スケート・アイスホッケー・銃剣道・アーチェリー・ボウリング・スキー・空手道・カヌー・ゲートボール・ゴルフ・なぎなた・グラウンドゴルフ・綱引・武術太極拳の44競技とする。

(2) 競技会場地については、ブロック内市町村の施設・宿舍・輸送等の事情により決定する。

ただし、会場等都合により実施が困難な競技は、他のブロックで実施することができるものとする。

7 形 式

- (1) 競技は原則として郡市対抗とする。ただし、参加チームが5郡市に満たない競技は公開競技（非採点競技）とする。
- (2) 競技の採点規定は別に定める。

8 大会の参加及び参加資格

(1) 参 加

- ア 各競技団体は、その特性に応じて、性別・年齢別等県民の各層が広く参加できるよう配慮する。
- イ 大会の参加は、冬季・本大会とも1人1競技とする。

(2) 参加資格

- ア 大分県に在住する社会人及び学生で、なおかつ、アマチュア競技者とし国籍は問わない。
- イ 年齢の基準は、当該年4月1日現在の満年齢とする。
- ウ 通信制・定時制・工業高等専門学校等の生徒で、満19歳以上の者は社会人とみなす。
- エ 郡市対抗競技に参加する競技者の帰属は、大会開催日から3ヶ月以上前の住民登録による現住所とする。

ただし、次の制度を利用する者は、居住郡市外から出場できる。

I ふるさと選手制度

「ふるさと」とは、出身小学校または中学校の所在地が属する郡市とする。

「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。

※各競技の適応人数は、団体競技は正規の競技者数、個人競技は総エントリー数に0.2を乗じた数を四捨五入して得られた数を上限とする。

II 総合型地域スポーツクラブ制度

登録・活動している総合型地域スポーツクラブが属する郡市とする。

※各競技の適応人数は、制限なしとする。

I及びIIともに、一度に登録した選手は、3年間、居住郡市から出場できないものとする。

- オ 県内の大学生及び大分工業高等専門学校4・5年生は、原則として出身小学校または中学校の所在地が属する郡市から出場するものとする。

ただし、次の者は居住郡市から出場できる。

(ア) 県内に在住し、県外大学に通学している者

(イ) 県外出身者で、県内の大学及び高等専門学校に在学する者

- カ 休暇または一時的に帰省した競技者の参加は認めない。

- キ 原則として、スポーツ安全保険等傷害保険に加入した者でなければ参加できない。

※在住とは、大分県内に住所を有し、生活の基礎があること。

※住民登録による現住所とは、住民票によって住所を有し、かつ日常生活をしている実態のある所を指す。

(3) 違反があった場合の処置

- (1)、(2)において違反があった場合は、別に定める大分県民スポーツ大会における違反に対する処分規程により処分を行う。

9 式 典

大会の式典は、大会第1日目の開始前に総合開会式を大会最終日の競技終了後に総合閉会式を実施する。

(1) 総合開会式

式典の順序は、おおむね次の基準による。

ア 開式通告	イ 国旗・大会旗入場	ウ 役員・選手団入場	エ 開会宣言
オ 国旗掲揚	カ 県旗・郡市旗掲揚	キ あいさつ	ク 祝 辞
ケ 選手宣誓	コ 表 彰	サ 閉式通告	シ 役員選手団退場

(2) 総合閉会式

式典の順序は、おおむね次の基準による。

ア 開式通告	イ 役員・選手団入場	ウ 成績発表	エ 表 彰
オ あいさつ	カ 閉会宣言	キ 役員・選手団退場	

10 表 彰

総合成績・部別成績・躍進成績については総合閉会式で、競技別成績については各競技会場で表彰する。

(1) 総合成績

総合成績第1位～第8位まで。

(2) 部別成績

前年度成績によるA(5郡市)・B(5郡市)・C(6郡市)各部別第1位～第3位まで。

(3) 躍進成績

躍進成績第1位～第3位まで。

ただし、前年度総合優勝の郡市は躍進成績の対象外とする。

(4) 競技別成績

- ア 各競技ごと、男女別・男女総合成績第1位～第3位まで。
- イ 各競技の種目及び各種別内の種目の第1位～第3位まで。

11 参加申込

- (1) 各郡市スポーツ協会において、選抜又は選考された者を所定の申込書により郡市スポーツ協会長名で申し込むものとする。
- (2) 所定の申込み期限までに、申し込むものとする。
- (3) 申込み終了後の選手変更は、当該年度の大会実施要項に定められた期限までとする。
なお、選手の追加については、エントリー内である場合のみ認める。

12 郡市役員の編成

参加郡市役員の編成は、原則として次のとおりとする。

団長1名・副団長2名・総監督1名・総務3名・顧問5名以内とし、競技監督等については別に定める。

13 大会の経費

大会の準備及び運営に要する経費は、大分県教育委員会・公益財団法人大分県スポーツ協会・大分県スポーツ協会加盟各競技団体でまかなうものとする。

(附則)

昭和55年	2月15日	一部改正	
昭和58年	2月28日	一部改正	
昭和61年	1月21日	一部改正	
平成元年	1月18日	一部改正	(大会の開催・了解事項)
平成2年	1月22日	一部改正	(大会の規模)
平成3年	1月29日	一部改正	(大会の規模・実施競技)
平成4年	1月22日	一部改正	(大会の規模・参加申込方法)
平成6年	3月4日	全面改正	
平成13年	2月28日	一部改正	(実施競技名・選手変更期限)
平成14年	1月24日	一部改正	(主管・大会の開催・競技会場地・式典・経費)
平成17年	3月18日	一部改正	(大会の開催・競技会場地・形式・参加資格・式典・表彰)
平成18年	3月3日	一部改正	(実施競技・式典・表彰)
平成19年	3月14日	一部改正	(表彰)
平成19年1	1月26日	一部改正	(参加資格・表彰)
平成21年	3月24日	一部改正	(参加資格)
平成22年	2月16日	一部改正	(大会の開催・競技会場地)
平成26年	2月7日	一部改正	(参加資格)
平成27年	2月3日	一部改正	(参加資格)
平成30年1	1月26日	一部改正	(参加申込)
令和2年1	0月13日	一部改正	(参加資格)
令和5年	3月22日	一部改正	(実施競技・参加資格)

Ⅱ 第77回大分県民スポーツ大会実施要項

1 主 催

大分県・大分県教育委員会・全市町村・全市町村教育委員会・公益財団法人大分県スポーツ協会・全郡市スポーツ協会

2 主 管

大分県民スポーツ大会実行委員会・公益財団法人大分県スポーツ協会加盟各競技団体

3 後 援

大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分

4 大会スローガン 「 輝く汗 光る笑顔 県北から広がれ スポーツの輪 」

5 会期及び実施競技・競技会場

- (1) 会 期 令和6年9月7日(土)～9日(月)の3日間を主日程とする。※一部競技 会期前開催
- (2) 実施競技 44競技(郡市対抗競技・公開競技)
- (3) 競技会場 12市2町及び県外 ※詳細は別紙『大会日程と会場一覧』のとおり

6 総合開・閉会式

- (1) 総合開会式 ①日時:9月7日(土) 9:00～ ②場所:ダイハツ九州アリーナ
- (2) 総合閉会式 ①日時:9月9日(月)16:00～ ②場所:県庁舎本館正庁ホール

7 参加申込

- (1) 申込方法 所定の様式により、各郡市スポーツ協会を通じて行うこととする。

【提出書類】

- ① 参加申込みに係る鑑 ※任意様式(各郡市スポーツ協会会長名を記入)
- ② 様式1 『競技別参加者実人数表』
- ③ 様式2 『郡市出場競技一覧表』
- ④ 様式3 『郡市役員編成表』
- ⑤ 様式4 『郡市スポーツ協会の特徴及び出場者の概要』
- ⑥ 様式5 『各競技の参加申込書』
- ⑦ 様式6 『各競技の参加変更届』

※①～⑥のデータを電子メールで提出する。⑥は、3部紙媒体で提出する。

※水泳については、参加申込書の提出とともに、日本水泳連盟Webエントリーで選手登録すること。

- (2) 申込期限 令和6年7月22日(月)正午必着
- (3) 申込先 〒870-8503 大分市府内町3-10-1(大分県教育庁体育保健課内)
大分県民スポーツ大会実行委員会事務局あて
- (4) 申込後の監督・選手の変更 所定の様式により、各郡市スポーツ協会を通じて総監督会議までに⑦様式6『各競技の参加変更届』を、電子メールで提出するとともに、2部紙媒体で提出すること。なお、選手の追加については、エントリー数以内である場合のみ認める。
- (5) 参加資格 開催基準要綱及び競技別実施要項による。また、各競技における年齢基準は、令和6年4月1日現在の満年齢とする。

8 競技・採点方法,表彰等

- (1) 競技は各競技別実施要項による。
- (2) 郡市対抗競技採点方法により、順位を決定し、総合1位～8位、各部別1位～3位、躍進1位～3位までを総合閉会式にて表彰する。競技別の表彰は競技毎に行う。
- (3) 主日程後に開催する競技は、参加郡市数に関わらず、郡市対抗得点の対象外とする。
- (4) 総合開会式において、出場回数に係る被表彰者及びスローガン被採用者の表彰を行う。

9 宿泊

宿泊については、郡市スポーツ協会、競技団体で宿舎を確保する。

Ⅲ 第77回大分県民スポーツ大会「大会日程と会場一覧」

☆総合開・閉会式 ◎競技日 ○予備日 △準備

会場 市町村	競技等	競技日程				会場地		
		9/6	9/7	9/8	9/9			
		日	日	日	日			
		(金)	(土)	(日)	(月)			
中津市	総合開会式	△	☆			ダイハツ九州アリーナ		
	バドミントン	△	◎	◎		ダイハツ九州アリーナ		
	軟式野球		◎	◎	○	ダイハツ九州スタジアム		
				◎	◎	○	ダイハツ九州軟式野球場	
	グラウンド・ゴルフ	△	◎	○		ダイハツ九州スポーツパーク大貞 芝生広場		
	銃剣道		△	◎		禅海スポーツセンター		
	山岳		◎	◎		中津市立三光中学校体育館、八面山野外音楽堂		
	アーチェリー		◎	◎		三光総合運動公園		
	ソフトボール(女子)	△	◎	◎	○	田尻ソフトボールグラウンド		
ボウリング	△	◎	◎		さくらボウル			
カヌー		◎	◎		山国川特設カヌー場			
豊後高田市	軟式野球		◎	◎	○	真玉市民グラウンド野球場		
	ソフトボール(男子)		△	◎	◎	○	高田市民グラウンド	
				△	◎	◎	○	香々地市民グラウンド
				△	◎			真玉中学校グラウンド
宇佐市	卓球	△	◎	◎		三和酒類スポーツセンター		
	軟式野球		◎	◎	○	宇佐市平成令和の森スポーツ公園野球場		
	自転車競技(ロード)		◎	8/25		宇佐市平成令和の森スポーツ公園周辺特設コース		
	綱引	△	8/31	◎	9/1	宇佐市立安心院中学校体育館		
	ゲートボール		△	◎		糸口ふれあいゲートボール場		
	ソフトボール(女子)	△	◎	◎	○	宇佐市総合運動場多目的競技場		
相撲		◎	◎		宇佐市総合運動場相撲場			
別府市	議員ソフトボール	◎	8/24	◎	25	野口原ソフトボール場A・B、野口原軟式野球場		
	自転車(トラック)		◎	8/24		別府市営別府競輪場		
	サッカー	△	◎	◎		実相寺サッカー競技場、実相寺多目的グラウンド、野口原総合運動場		
	セーリング		◎	◎		別府港北浜ヨットハーバー		
杵築市	体操		△	◎		県立杵築高等学校(多目的競技場体操場)		
	剣道		△	◎		杵築市文化体育館		
国東市	ウエイトリフティング	△	◎	◎		国東ウエイトリフティング場、市立国東小学校(体育館)		
大分市	なぎなた	△	◎			レゾナック武道スポーツセンター(道場1)		
	柔道		△	◎		レゾナック武道スポーツセンター(道場1・2・3)		
	バスケットボール	△	◎	◎		レゾナック武道スポーツセンター(多目的競技場)		
	陸上競技			◎		大分スポーツ公園レゾナックドーム大分		
	テニス		◎	◎	○	大分スポーツ公園レゾナックテニスコート		
	ソフトテニス	◎	8/31	◎	9/1	大分スポーツ公園レゾナックテニスコート		
	ラグビーフットボール	◎	8/31	◎	9/1	7・8	大分スポーツ公園レゾナックサッカー・ラグビー場	
	水泳		◎	9/1		大分市営温水プール		
	フェンシング		△	◎		大分県立フェンシング場		
	弓道	△	◎	◎		大洲運動公園弓道場		
	空手道		△	◎		サイクルショップコダマ大洲アリーナ(剣道場)		
	バレーボール		△	◎	◎		サイクルショップコダマ大洲アリーナ(大・小体育室)	
				△	◎		県立大分商業高等学校(体育館)	
	ハンドボール	△	◎			県立大分舞鶴高等学校(多目的競技場)		
ボクシング	△	◎	◎		県立鶴崎工業高等学校(ボクシング場)			
武術太極拳		△	◎		県立芸術緑丘高等学校(体育館)			
総合閉会式				☆	県庁舎本館正庁ホール			
由布市	ライフル射撃	◎	7/27	◎	28	庄内屋内競技場		
佐伯市	レスリング			◎		日本文理大学附属高等学校レスリング場		
竹田市	ゴルフ		◎	9/6		久住高原ゴルフ倶楽部		
豊後大野市	馬術	△	◎			恵藤建設馬術場(三重馬術場)		
日田市	ボート		△	◎		日田市三隈川特設会場		
玖珠町	ホッケー		△	◎		メルヘンの森スポーツ公園ホッケー場		
	クレ射撃		◎	◎		玖珠郡クレ射撃場		
九重町	スキー			中止		九重森林公園スキー場		
福岡県	スケート		3/2	実施済		スポガ久留米(ガーデンアイスアリーナ)		
	アイスホッケー			中止		スポガ久留米(ガーデンアイスアリーナ)		

IV 第77回大分県民スポーツ大会総合開・閉会式式典実施要領

1 総合開会式

- (1) 趣 旨 県下最大のスポーツの祭典に参加する各郡市役員・選手団を激励するとともに、参加者全員で参加の栄光と感動を共有する。
- (2) 日 時 令和6年9月7日(土) 9:00
- (3) 会 場 ダイハツ九州アリーナ
- (4) 参加者 大会役員、各郡市役員・代表選手、被表彰者
- (5) 次 第
- 1 開式通告 2 役員・選手団入場 3 開会宣言(大会委員長)
 - 4 国旗・県旗・開催市旗儀礼 5 優勝旗返還(前年度総合優勝・各部別優勝)
 - 6 あいさつ(大会会長) 7 祝 辞(県議会議長・開催市長)
 - 8 表 彰(10回・20回・30回・40回・50回出場及びスローガン被採用者表彰)
 - 9 選手宣誓 10 閉式通告 11 アトラクション

※ 総合開会式入場順序

先導者(大会標識保持) — 各旗保持者 — 被表彰者 — 各郡市役員選手団

県南(①津久見市②佐伯市③臼杵市) — 豊肥(④豊後大野市⑤竹田市) — 久大(⑥玖珠郡⑦日田市)
— 大分(⑧大分市⑨由布市) — 別杵(⑩国東・東国東郡⑪杵築市⑫別府市⑬速見郡)
— 県北(⑭宇佐市⑮豊後高田市⑯中津市)

2 総合閉会式

- (1) 趣 旨 大分県民スポーツ大会の閉会式にふさわしく、厳粛を旨とし、各郡市の栄光と健闘をたたえる。
- (2) 日 時 令和6年9月9日(月) 16:00
- (3) 会 場 大分県庁舎本館正庁ホール
- (4) 参加者 大会役員、各郡市役員・選手(各郡市4名程度)
- (5) 次 第
- 1 開式通告 2 成績発表 3 表 彰(総合・部別・躍進)
 - 4 あいさつ 5 閉会宣言

V 大分県民スポーツ大会における違反に対する処分規程

第1章 総則

第1条 規程の対象となる違反

この規程は、大分県民スポーツ大会（以下「県スポ」という。）において次の違反が発生した場合の手続き及び処分内容等について定める。

(1) 大会の参加及び参加資格に係る違反（以下「参加資格違反」という。）

開催基準要綱「8 大会の参加及び参加資格(1)、(2)」に対する違反を対象とする。

※「参加」とは参加申込締切時にエントリーしていることをいう。

ただし、「ふるさと制度」、「総合型地域スポーツクラブ制度」を活用する場合、公示した段階でエントリーしたものとみなす。

※「出場」とは競技会に出場することをいう。

第2条 適用範囲

原則として、違反を犯した当該選手・監督等（以下「当該者」という。）・当該チームに対して本規程を適用する。

ただし、違反の内容及び違反に至った経緯において、明らかに意図的あるいは計画的で悪質と判断した場合は、当該者の所属する当該郡市スポーツ協会及び当該者の選考等に関係する当該市町村競技団体（以下「関係団体」という。）に対して、別途処分を課することができる。

第2章 参加資格違反に関する手続き・処分内容等

第3条 参加資格違反に関する聴聞

違反が判明した時点において、当該者及びその所属する関係機関・団体から聴聞を行う。

第4条 参加資格違反に関する処分内容の決定

処分内容については、本規程第3条に定める聴聞を受けて、大分県民スポーツ大会実行委員会事務局が本規程第5条に基づき決定する。

第5条 参加資格違反に関する処分

1. 故意による違反の場合

(1) 競技会開始前及び期間中

1) 当該者の当該大会への出場を直ちに中止させる。また、当該者が団体競技に参加している場合、当該チームについても直ちに出場を中止させる。

2) 成績が発生している場合は、当該者・チームの順位・得点等を含む全成績（以下「成績」という。）を抹消する。

3) 当該者については、次回大会から2大会の参加禁止処分とする。

4) 当該者・チームの所属する関係団体については、嚴重注意処分とする。

(2) 競技会終了後

1) 当該大会における当該者・チームの成績を抹消した上で、改めて全郡市の成績を見直すものとする。

2) 当該者については、次回大会から2大会の参加禁止処分とする。

3) 当該者・チームの所属する関係団体については、嚴重注意処分とする。

(3) 累積（2回目以降）した場合

- 1) 当該者については、次回大会以降、全ての大会の参加禁止処分とする。
- 2) 関係団体については、当該競技への次回大会から2大会の参加禁止処分とする。

2. 過失による違反の場合

当該者・チームについては、次のとおり取り扱うこととする。

また、処分内容については、当該者に対して嚴重注意処分とし、当該者の所属する関係団体に対して注意処分とする。

(1) 競技会開始前

1) 個人競技

- ①当該者の当該大会への出場を直ちに禁止する。
- ②監督（コーチ）が違反を犯すことにより、選手が大会に出場できない場合、当該競技規則の定める範囲内において参加資格を満たす者と交代することができる。参加資格を満たす交代者がおらず、監督（コーチ）が不在となる場合、当該監督（コーチ）が所属する競技・種別の選手の出場は認めないものとする。

2) 団体競技

- ①当該者の当該大会への出場を直ちに禁止する。
- ②当該者の所属チームについては、当該競技規則の定める範囲内において、競技会に参加できるものとする。ただし、当該者の代替選手への交代（変更）は認めないものとする。
- ③監督（コーチ）が違反を犯すことにより、チームが大会に出場できない場合、当該競技規則の定める範囲内において参加資格を満たす者と交代することができる。参加資格を満たす交代者がおらず、監督（コーチ）が不在となる場合、所属チームの出場は認めないものとする。

(2) 競技会期間中

1) 個人競技

- ①当該者の当該大会への出場を直ちに中止させる。違反を犯した者が選手の場合、成績を抹消する。
- ②監督（コーチ）が違反を犯すことにより、選手が大会に出場できない場合、当該競技規則の定める範囲内において参加資格を満たす者と交代することができる。参加資格を満たす交代者がおらず、監督（コーチ）が不在となる場合、当該監督（コーチ）が所属する競技・種別の選手の出場は認めないものとする。

2) 団体競技

- ①当該者の当該大会への出場を直ちに中止させる。
- ②当該者の所属チームについては、当該競技規則の定める範囲内において継続して競技会に出場できるものとする。また、その成績も認めるものとする。ただし、当該違反選手に係る代替選手の交代（変更）は認めないものとする。
- ③監督（コーチ）が違反を犯すことにより、チームが大会に出場できない場合、当該競技規則の定める範囲内において参加資格を満たす者と交代することができる。交代ができる場合は、その当該監督（コーチ）所属チームの成績も認めるものとする。参加資格を満たす交代者がおらず、監督（コーチ）が不在となる場合、所属チームの出場を直ちに中止させる。

(3) 競技会終了後

当該大会における当該者・チームの成績を抹消した上で、あらためて全郡市の成績を見直すものとする。

(4) 累積（2回目以降）した場合

当該者については、2度目は次回大会、3度目は次回大会以降すべての大会の参加禁止処分とする。

第3章 競技順位等の取り扱い

第6条 競技順位及び得点

1. 本規程第5条の1及び2に定める違反が確定し、当該者・チームの成績が抹消された場合、あらためて成績を確定する。ただし、当該競技における成績の繰り上げは行わず、当該者・チームの成績を空位とする。
2. 成績を訂正する場合は、以下のとおり取り進める。
 - (1) すみやかに当該競技及び総合順位・得点を確定し、公表する。
 - (2) 当該競技及び総合順位の入賞郡市に変更が生じた場合、あらためて表彰状を授与する。

第4章 その他

第7条 その他

1. 参加資格違反については、違反した当該大会から1大会以上を経て違反が判明した場合、発覚した時点から起算して本規程を適用する。ただし、成績の見直しは行わない。
2. 本規程に定める事項以外については、大分県民スポーツ大会実行委員会（以下「県スポ実行委員会」という。）において決定する。

第8条 規程の変更

この規程は、県スポ実行委員会の議決により変更することができる。

附則

1. 本規程は、令和2年10月13日より施行する
2. 本規程は、令和5年3月22日一部改正し、同日から施行する。
3. 本規程は、令和6年2月16日に改定（総則、参加資格違反に関する手続き・処分内容等）し、同日から施行する。

Ⅵ 大分県民スポーツ大会表彰規程

(趣旨)

第1項

この表彰は、大分県民スポーツ大会の健全な普及・発展に貢献し、著しい成果をあげた個人の表彰に関して必要な事項を定めるものとする。

(審査及び決定)

第2項

大分県民スポーツ大会実行委員会事務局長は、地域体育団体からの推薦のあった個人について、第4項の定めるところにより審査し、被表彰者を決定する。

(候補者の推薦)

第3項

地域体育団体は、選考委員会の議を経て、候補者を推薦するものとする。

(推薦基準)

第4項

推薦基準は次のとおりとする。

- (1) 選手として10回出場した者。
- (2) 選手及び監督・役員として、20回・30回・40回・50回出場した者。
- (3) 出場は、連続出場でなくてもよい。
- (4) 異なる競技に出場した場合は、通算する。

※『出場した者』とは、大分県民スポーツ大会実行委員会事務局が参加申込を受け付けた者。

(表彰)

第5項

前項に定める表彰は、大分県民スポーツ大会の開会式において、大分県民スポーツ大会会長が表彰する。

(改正手続)

第6項

この規程は、大分県民スポーツ大会実行委員会の承認を得て改正することができる。

(附則)

この規程は、昭和49年2月27日から施行する。

昭和52年3月15日 一部改正

昭和58年2月28日 一部改正

昭和61年1月21日 一部改正

平成9年5月28日 一部改正

平成19年3月14日 一部改正

平成23年1月27日 一部改正

令和3年11月9日 一部改正

Ⅶ 郡市対抗競技採点方法

1 郡市対抗規定

郡市対抗競技に指定された競技を対象とする。

2 順位決定

競技成績により競技点を与え、その合計点の数値で順位を決定する。同点の場合は、競技優勝（競技総合）の多少により、なおかつ、決定しないときは、2位数の多少による。以下これに準ずる。以下、同条件の場合は種別成績の内容により決める。

3 部別順位

年度総合順位によるA部（1～5位）・B部（6～10位）・C部（11～16位）の各部ごとに当該大会の総合得点により部別順位を決定する。

4 躍進順位

総合得点を基準点（最近2年間の総合得点の平均）で除した躍進得点により順位を決定する。

$$\text{※ 躍進得点} = \frac{\text{総合得点}}{\text{基準点}} \times 100$$

5 競技得点

(1) 郡市対抗競技に参加した（郡市数+1）点を優勝郡市の得点とし、2位を（郡市数-1）点とする。以下、1点を減じ最下位を1点としたものを競技得点とする。

(2) トーナメントで行われる競技では、3～4位・5～8位・9～16位以下をそれぞれ共有することがあるが、この場合の得点は、その合計点を当該郡市数で除したものである。また、2パートのトーナメントで行われる競技では、両パートの1位に1～2位得点、2位に3～4位得点、3位に5～8位得点、5位以下についても同様に得点を按分して与える。

（※小数点第二位を四捨五入）

(3) トーナメントでの不戦勝チームの採点は、つぎのとおりとする。

ア 2回戦を勝ち残った時は、前項得点方式と同様に行う。

イ 2回戦で敗退した時は、2回戦で敗退した郡市と同順位と見なし、2回戦敗退郡市で当該得点合計を除いた得点とする。

(4) 3位決定戦を行う場合、両チーム棄権のときは、両チーム4位とする。

(5) 雨で中止又は途中で中止になった場合の採点方法

ア 全く試合ができなかったときは、申込チームに最下位点（1点）を与える。

イ 途中で中止のやむなきに至った場合は、それまでの得点を按分する。

ただし、この場合は同一条件にしての得点按分とする。

6 競技順位決定

(1) 競技の内容が種別（性別）に分かれている競技は、競技ごとの成績に、前記競技得点と同様な順位得点を与え、その合計の多少によって決定する。水泳、陸上競技は種目合計点による。

(2) 同点の場合、種目優勝の有無による。同条件の場合は、第2位、以下これに準ずる。

(3) 各競技順位決定のための順位得点は次のとおり。

(水泳競技)

水泳競技は、決勝種目ごと1位を8点、2位7点、3位6点、以下5・4・3・2・1点とし、リレー種目は1位16点・2位14点・3位12点・4位10点・以下8・6・4・2点とする。

各参加郡市には、男女別に参加点(10点)を一律に与える。

優勝は、男女総合得点の多少により決定する。同点の場合は、リレーの成績により決定する。

(陸上競技)

陸上競技は、種目ごとに決勝8位までを1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。男子、女子の得点を合計し、その多少により競技の順位を決める。同点の場合、優勝数による。以下これに準ずる。

(テニス、バスケットボール、卓球、軟式野球、バドミントン、ソフトテニス、サッカー、ソフトボール、バレーボール、ハンドボール、銃剣道、ボウリング、空手道、ゲートボール、ゴルフ、なぎなた、フェンシング、グラウンド・ゴルフ競技)

それぞれに(参加郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、以下競技得点に移行する。

(体操競技)

各種目について、上位3位の得点合計により、(郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、同点のときは優勝数による。更に決定しないときは、2位数による。

(ウエイトリフティング競技)

種目ごとに第8位までを1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点を与え、その得点合計の多少により順位を決める。(同記録、同体重の場合は先に記録をマークした選手を上位とする。)競技獲得得点により団体順位を決定する。

(相撲・柔道・剣道競技、バレーボール)

決勝トーナメントは、そのまま競技得点に移行するが、予選リーグでの敗退郡市は、各パートでの順位にそれぞれ得点を按分し与える。

(弓道競技)

遠的・近的それぞれに(参加郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、その合計点による。同点のときは、近的の順位で決める。性別による種目は、6の(1)、(2)による。

郡市総合順位は、種別順位得点の合計ではなく、種目順位得点の合計で決める。

(ラグビーフットボール競技)

各パートでそれぞれ郡市順位を決定する。順位得点は5の(2)による。

(自転車競技)

各種目の順位、得点は、競技別実施要項による。

(山岳競技)

種目ごとに、郡市対抗競技採点方法の5の(1)と同じ得点を与え、それらの合計得点によって種別の郡市順位を決定する。合計得点と同点となった場合、種目順位の差によって上位の郡市を優位にした順位にする。ただし、踏査競技と縦走競技

の比率を1対1とする。総合順位については、種別の郡市順位に前記と同様の得点を与え、それらの合計得点によって郡市順位を決定する。合計得点と同じ場合は前記と同様の順位付けをおこなう。ただし、男子対抗と女子対抗の比率を1対1とする。

(ライフル射撃競技)

射撃得点の合計点の多少による。

(クレール射撃競技)

スキート・トラップの種目順位点の総合計点により順位を決定する。同点のときは国際ルール第60条により25個撃ちの最終回の団体員(スキート・トラップ)の合計成績により決定される。なお、同じ場合は、その別のラウンドへ異なる結果がでるまで続けられる。

(セーリング競技)

各種目のレースごとにセーリング競技規則付則Aにより得点を与え、その得点合計で郡市順位を決定する。

(アーチェリー競技)

- ①団体選手9名のうち、上位3名の記録の合計により郡市の順位を決定する。合計得点と同点の場合は、記録上位者のいる郡市が上位となる。
- ②個人男子、個人女子ともに、郡市得点の採点対象とはしない。

(空手道競技)

個人種目は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。ただし、同順位の場合は得点を按分する。団体種目は、1位16点、2位14点、3位12点、4位10点、以下8・6・4・2点とする。個人種目と団体種目の合計により郡市順位を決定する。

(スキー競技)

男女とも参加出走選手数プラス1点を1位の得点とし、2位を出走選手数マイナス1点とする。以下1点を減じ、出走後の棄権・タイムオーバーについては最下位点(1点)を与える。不出走は0点とする。総合順位は男女の郡市得点を合計して決める。同順位の場合は得点を折半する。

(レスリング競技)

(公財)日本レスリング協会の規定による。ただし、県民スポーツ大会のルールを適用し順位を決定する。(8チーム以下の場合は、3位決定戦を行うが、9チーム以上の場合は上記規定による。)

(カヌー競技)

参加選手数が最も多い種目の選手数を、すべての種目の1位の得点とし、2位以下は各種目の参加選手数により配分する。スタートしたがゴールできなかった選手には、1点を与える。スタートしなかった場合は0点とする。

$$\text{得点} = \text{最多参加選手種目の選手数} - \frac{(\text{最多参加種目の選手数} - 1)}{(\text{その種目の選手数} - 1)} \times (\text{順位} - 1)$$

※小数点以下2位を切り捨て、小数点1位まで算出する。

郡市対抗の順位は、各種目の得点合計により算出する。同点の場合は優勝数により決定する。

(綱引競技)

参加種目が最も多い部門の郡市数+1をすべての種目の1位得点とし、2位以下はその郡市数-1点とする。総合順位は、各種目の合計得点の多少により決定する。
※同点の場合は、部門出場数が多いチームを上位とする。

(武術太極拳)

個人・ペア・団体それぞれに(参加郡市数+1)点を1位とする順位得点を与える。郡市総合順位は、各種目の合計得点の多少により決定する。同点の場合は、団体種目の順位による。

7 部 別

A部：5郡市（前回大会1～5位）

大分市、別府市、日田市、佐伯市、中津市

B部：5郡市（前回大会6～10位）

臼杵市、宇佐市、国東市・東国東郡、豊後高田市、由布市

C部：6郡市（前回大会11～16位）

豊後大野市、速見郡、杵築市、玖珠郡、津久見市、竹田市

8 躍進得点の算出基準点

過去2大会の総合得点の平均とする。

※小数点第二位以下四捨五入

郡 市 名	基準点	郡 市 名	基準点
中 津 市	257.0	由 布 市	171.0
豊 後 高 田 市	173.0	佐 伯 市	259.5
宇 佐 市	214.0	津 久 見 市	139.0
別 府 市	295.8	臼 杵 市	220.0
杵 築 市	166.8	竹 田 市	107.8
速 見 郡	169.5	豊 後 大 野 市	149.8
国東市・東国東郡	179.3	日 田 市	264.5
大 分 市	408.5	玖 珠 郡	155.3

Ⅷ 雨天時の措置要領

- 1 総合開会式・総合閉会式については、晴雨にかかわらず実施する。
ただし、台風接近等荒天が予想される場合は、別途、各郡市スポーツ協会へ連絡を行う。
- 2 雨天の場合、順延する種目は次のとおりで、その他は晴雨にかかわらず実施する。
テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、グラウンド・ゴルフは、関係者の協議により決定する。

順延方法

(1) 1日目、雨の場合

テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、グラウンド・ゴルフは、2日目にそれぞれ順延する。

(2) 2日目、雨の場合

テニス、軟式野球、ソフトボールは、3日目にそれぞれ順延する。ソフトテニスは1日目の日程のみとする。

(3) 3日目、雨の場合

中止する。

(4) 1日目、2日目雨の場合

テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、グラウンド・ゴルフは中止する。

(5) 1日目、3日目雨の場合

軟式野球は2日目・1日分のみ実施。テニス、ソフトボールは実施できるところまで。

(6) 2日目、3日目雨の場合

テニス、軟式野球、ソフトボールは1日目の日程のみとする。

雨天時等における実施態度の連絡要領

各競技団体と実行委員会本部が実施態度について協議・決定



各競技団体が各郡市の競技責任者へ連絡



各郡市の競技責任者は当該郡市スポーツ協会事務局へ連絡

IX 競技別実施要項

1 水泳

1 日 時 令和6年9月1日(日)

開 場 8:00
 監督会議 9:00 (大分市営温水プール)
 開 始 式 9:30 "
 競技時間 9:45～15:00
 閉 会 式 15:10～15:20

2 会 場 大分市営温水プール(25m 8レーン)

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ()内は参加できる選手人数

性別	種目 年齢区分	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	個人 メドレー	リレー	メドレーリレー	
		男	30 歳 未 満 100m (2) 50m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)	200m 年齢区分なし
	30～40 歳 未 満 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—	200m 年齢区分なし	200m 年齢区分 30歳以上	
	40～50 歳 未 満 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—			
	50～60 歳 未 満 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—			
	60 歳 以 上 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—			
女	30 歳 未 満 50m (2)	50m (2)	50m (2)	50m (2)	50m (2)	—	200m 年齢区分なし	200m 年齢区分なし	
	30～40 歳 未 満 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—			
	40 歳 以 上 50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—			

(3) 競技方法

- ① 競技順序はプログラムに記載する。
- ② 競技は、タイムレースで行う。
- ③ 各参加郡市には、男女別に参加点(10点)を一律に与える。
- ④ 種目ごとに、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、……8位1点とし、リレー種目は1位16点、2位14点、3位12点、4位10点、……8位2点とする。
- ⑤ 優勝は男女総合点の多少により決定する。同点の場合はリレーの成績により決定する。

(4) 参加方法

- ① 各郡市とも、男子チーム(監督1名、選手24名以内)・女子チーム(監督1名、選手16名以内)とする。(男子選手24名・女子選手16名の中にリレーメンバーも含まれる。)
- ② 30歳未満の男女の部は、各種目とも2名以内、一人2種目以内(ただし、リレーを除く。)を申し込むことができる。
- ③ 男子30歳～40歳未満、40歳～50歳未満、50歳～60歳未満、60歳以上及び女子30歳～40歳未満、40歳以上の部は、各種目とも1名、一人1種目(ただし、リレーを除く。)を申し込むことができる。
- ④ 年齢区分の該当者は、その年齢区分以外の種目に出場することはできない。ただし、男子200mメドレーリレーは30歳以上で構成する。200mメドレーリレー、女子200mメドレーリレー、男女200mリレーは年齢区分で規制しない。
- ⑤ 県内の大学生及び大分工業高等専門学校4・5年生は、原則として出身中学校郡市から出場するものとする。ただし、次の者は居住郡市から出場できる。
 - a 県内に在住し、県外大学に通学している者
 - b 県外出身者で、県内の大学及び高等専門学校に在学する者
 - c 通信制・定時制については、在住地より出場できる。
- ⑥ 年齢は、令和6年4月1日現在の満年齢とする。
- ⑦ 監督は、選手を兼ねることができる。

(5) その他

- ① 決勝3位までに入賞した者(郡市)を表彰する。
- ② 個人、リレーの表彰はレース後ただちに行い、総合男女・男子優勝・女子優勝の表彰は、閉会式で行う。

2 陸上競技

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
 審判会議 8:30
 監督会議 9:00
 競技開始 10:00
 表彰式 16:00

2 会 場 大分スポーツ公園レゾナックドーム大分

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目

男子	30 歳 未 満	100m、1500m
	30 ～ 40 歳 未 満	100m、1500m
	40 歳 未 満	砲丸投(7.26kg)
	40 ～ 50 歳 未 満	100m、1500m
	40 歳 以 上	砲丸投(6.00kg)
	50 歳 以 上	100m、1500m
	共 通	400m、5000m、4×100mR、10000mチームレース(2名)、走高跳、走幅跳
女子	30 歳 未 満	100m、砲丸投(4.00kg)
	30 歳 以 上	100m、砲丸投(4.00kg)
	共 通	200m、3000m、4×100mR、走高跳、走幅跳
市町村議員・教育委員		100m、4×100mR ※男女を問わない。

(3) 競技方法

- ① トラック種目は、全てタイムレースで行い、8名が決勝へ進出する。
 ただし、エントリーが8名以下の種目は予選を実施せず、決勝のみとする。
 市町村議員・教育委員100m、4×100mRは予選を行わず、決勝タイムレースとする。
- ② 総合順位は、各種目の合計得点により決定する。ただし、同点の場合は、上位種目の多少により決定する。(市町村議員・教育委員100mおよび4×100mRは、男女の得点には加算せず、総合得点として加算する)
- ③ 表彰は、総合・男子・女子・個人とも、3位までとする。
- ④ 10000mチームレースは、3名の申込みとし、その中から2名が出場する。2名の着順合計で順位を決定する。
- ⑤ 市町村議員・教育委員の4×100mリレーは、必ず45歳以上を2名以上入れて編成すること。
- ⑥ 投てき物の重さは、次の通りとする。
 ア. 男子砲丸投 A:40歳未満7.26kg B:40歳以上6.00kg
 イ. 女子砲丸投 30歳未満・30歳以上とも4.00kg
- ⑦ リレー競技は、チームが識別できるもので、上下ともに同系色のユニフォームを着用すること。

(4) 参加方法

- ① 各郡市1種目1名、1人1種目とする。ただし、10000mチームレースは、3名の申込みとすること。
 なお、リレーとチームレースは兼ねてもよい。
- ② 各郡市の選手団の編成は、次のとおりとする。
 総監督1名、男子監督1名、女子監督1名、市町村議員・教育委員監督1名、男子選手19名以内、市町村議員・教育委員選手6名以内、女子選手10名以内とし、監督は選手兼任可とする。
- ③ アスリートビブスは、胸と背部につけること。ただし、跳躍種目はいずれか1枚でもよい。
- ④ 競技場は全天候舗装である。使用するスパイクのピンは、9mm以下、走高跳は12mm以下とする。

(5) その他

- ① 落雷時には、競技を中断し、天候回復後に再開する。状況によりレゾナックドーム大分の屋根を閉める。

3 テニス

1 日 時	令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)	予備日9月9日(月)
	監督会議 9月7日(土) 9:00	
	大分スポーツ公園レゾナックテニスコート	
	競技開始 9月7日(土) 9:30	
	9月8日(日) 9:00	
	9月9日(月) (予備日)	

2 会 場 大分スポーツ公園レゾナックテニスコート(男子・女子)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子都市対抗
- ② 女子都市対抗

(2) 種 目

- ① 男子 シングルス2・ダブルス3
- ② 女子 シングルス1・ダブルス2

(3) 競技方法

- ① 各都市から男子1チーム、女子1チームとし、トーナメントで行う。(1R敗者による敗者戦あり)
- ② 試合は、男子一般2シングルス・1ダブルス、45歳以上1ダブルス、55歳以上1ダブルス、女子は1シングルス・2ダブルスとし、それぞれ1セットマッチ6ゲームオールタイムブレイク、ノーアドバンテージスコアリング方式で行う。(天候等やむを得ない事情による変更有り)
- ③ 組み合わせは、前年度1位及び2位をシードとし、その他は抽選とする。
- ④ シングルスの出場順位は、各都市の自由とする。

(4) 参加方法

- ① 男子チームの編成は、監督1名、一般選手4名、45歳以上選手2名、55歳以上選手2名、補欠2名、計11名以内。
女子チームは、監督1名、一般選手5名、補欠2名、計8名以内。
- ② 監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ シングルスとダブルスの重複出場はできない。
- ④ 最小限、男子は3ポイント、女子は2ポイントの人員編成でも参加を認める。
- ⑤ 年齢上位の者は、下位種目へ自由に参加できる。
ただし、年齢上位の者が一般選手として登録した場合は、年齢上位の種目には出場できない。
45歳以上選手に登録した場合は55歳以上の種目には出場できない。

(5) そ の 他

- ① 使用球は、『ダンロップ・フォート』とし、試合前対戦チーム相互に調整使用する。
- ② 審判は、セルフジャッジとする。

4 体操

1 日 時 令和6年 9月 7日(土)
セッティング 14:30～ 会場練習 15:30～18:00

令和6年 9月 8日(日)
開 場 8:30～ 監督会議 9:30～
審判会議 10:00～ 開 始 式 10:30～
競 技 11:00～ 閉 会 式 15:30～

2 会 場 県立杵築高等学校(多目的競技場体操アリーナ)

3 実施要領

(1) 種 別 ① 男子:郡市対抗 ② 男女:種目別選手権

(2) 種 目

- ① 男子郡市対抗は、ゆか、跳馬、鉄棒の3種目。
- ② 男女種目別選手権として男子:あん馬、つり輪、平行棒。
女子:跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかを行う。

(3) 競技方法

- ① 郡市対抗種目は、大分県体操協会制定の規定演技とする。
郡市対抗は団体戦とし、各種目のベスト3の合計得点とする。組み合わせは抽選とする。
- ② オープン競技としてゆか、跳馬、鉄棒を実施する。ただし、各郡市の団体出場者以外の選手によって行い希望種目のみの参加でもよい。
- ③ 男子の跳馬の高さは、125cmとする。
- ④ 演技の復行については、跳馬のみ1回の復行を認める。ただし、この場合の1回目の演技は採点しない。
- ⑤ 種目別選手権は自由演技とする。

(4) 参加方法

- ① 各郡市1チームとし、4名で編成する。(監督と選手の兼任を認める)
補欠は1名とし、補欠のオープンとしての参加は認める。
- ② チーム編成のできない郡市については1名でも郡市対抗として参加できる。

(5) そ の 他

- ① 選手は下記の背番号を各郡市で準備して必ず付けること。

佐伯市	1～10	別府市	11～20	大分市	21～30
宇佐市	31～40	速見郡	41～50	国東市・東国東郡	51～60
津久見市	61～70	杵築市	71～80	豊後大野市	81～90

(寸法:縦9cm、横12cm 字色:男子は黒・女子は赤)
- ② 上記以外の郡市より出場選手があった場合は別に考慮する。
- ③ 各郡市で傷害保険の加入をしていない選手については個人の責任によるものとする。

5 バスケットボール

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)

開 始 式 9月7日(土) 9:00

レゾナック武道スポーツセンター(多目的競技場)

競技開始 9月7日(土) 9:30

9月8日(日) 9:30

2 会 場 レゾナック武道スポーツセンター(多目的競技場)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

5人制

(3) 競技方法

- ① 現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- ② トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。

(4) 参加方法

- ① チームは、監督1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手12名、計15名以内により編成する。
- ② ユニフォームは濃淡各1着を準備し、胸部に郡市名を明記すること。なお、番号については0～99番までとする。
- ③ コーチ・Aコーチ・マネージャーは、選手を兼ねることができる。

(5) そ の 他

- ① 本年度の組み合わせは、昨年度の上位2チームをシードとし、他はフリー抽選とする。
- ② 審判について、各チームより最低1名帯同審判を出すよう義務付ける。また、審判はJBA公認ライセンスのE級以上の資格を有する者とする。
- ③ 第1試合のテーブル・オフィシャルズについては、第3試合に該当するチームが当たること。
- ④ 第2試合以降は、前の試合で負けたチームがオフィシャルをすること。
- ⑤ 2日目の第1試合(女子準決勝)は、次の試合に出場するチームがオフィシャルを行うこと。

6 ウェイトリフティング

- 1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)
- | | | |
|------|---------|-------------------------------------|
| 監督会議 | 9月7日(土) | 9:00 |
| 開始式 | 9月7日(土) | 9:15 |
| 競技開始 | 9月7日(土) | 10:00 |
| | 9月8日(日) | 10:00 |
| 検量 | 9月7日(土) | 8:00~9:00 |
| | | (55kg級、61kg級、67kg級、73kg級、81kg級) |
| | 9月8日(日) | 8:00~9:00 |
| | | (89kg級、96kg級、102kg級、109kg級、+109kg級) |
- 2 会 場 国東ウェイトリフティング場
国東市立国東小学校体育館
- 3 実施要領
- (1) 種 別
男子郡市対抗
- (2) 種 目
① スナッチ
② クリーン&ジャーク
- (3) 競技方法
公益社団法人日本ウェイトリフティング競技規則による。
- (4) 参加方法
ジュニア・シニア1階級2名以内、マスターズ2名以内、計12名以内とする。
ただし、マスターズ(40歳以上の者)が2名を越える場合には、シニアとして参加できる。
監督は選手兼任を可とする。
- (5) その他
- ①競技得点
スナッチC&ジャーク各種目、各階級に以下の得点を与える。
1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点
(同記録、の場合は先に記録をマークした選手を上位とする)
- ②階 級
ジュニア・シニア・マスターズ
(55kg級、61kg級、67kg級、73kg級、81kg級、89kg級、96kg級、102kg級、109kg級、+109kg級)
- ③団体順位
競技獲得得点により団体順位を決定する。同点の場合は上位入賞者数の多い郡市を上位とし、入賞者数においても同数の場合は成功率が高い郡市を上位とする。それでも同位の場合は抽選にて順位を決定する。
- ④審判員
各市郡選手団に1名以上の審判員(日本協会公認3級審判員以上)を帯同する。
(審判員数については、事務局にて調整を行う)
- ⑤成績発表・表彰式
2日目全競技終了後(15:15予定)、団体・個人の成績発表・表彰式を行う。
- ⑥階級変更
選手変更届提出後は、階級変更できない。また、検量は何回測定してもよいが規定の体重でないときには失格になる。
- ⑦日程
参加人数により日程の変更あり。

8 軟式野球

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日) 予備日9月9日(月)

競技開始

9月7日(土) 9:00 (4会場)

ダイハツ九州スタジアム

ダイハツ九州軟式野球場

真玉市民グラウンド野球場

宇佐市平成令和の森スポーツ公園野球場

9月8日(日) 8:30 (2会場)

ダイハツ九州スタジアム

ダイハツ九州軟式野球場

2 会 場 ダイハツ九州スタジアム

ダイハツ九州軟式野球場

真玉市民グラウンド野球場

宇佐市平成令和の森スポーツ公園野球場

3 実施要領

(1) 種 別 男子郡市対抗

(2) 種 目 9人制

(3) 競技方法

① 競技はトーナメント方式による。

② ゲームは7回戦とする。

③ コールドゲームは、5回以降7点差とする。

④ 延長戦は、判定戦を採用する。

⑤ 判定戦は、無死1・2塁で継続打者からとする。なお、一度退いた選手は出場できない。得点は、正式回数と判定戦の総合計とする。

⑥ 使用球は、ナガセM号ボールとする。

⑦ 今大会は指名打者ルールは導入しない。

(4) 参加方法

① 登録人員は、監督を含め20名以内とし、50歳以上1名、40歳以上3名、30歳以上3名、30歳未満2名を常時出場させ、投手は35歳以上とする。

② 年齢は、令和6年4月1日の満年齢とし、高年齢者が低年齢者の代行はできるが、その逆はできない。

③ 背番号は50歳代は50代ナンバー、40歳代は40代ナンバー、30歳代は30代ナンバー、30歳未満は20代(以下の)ナンバーをつけること。年代別背番号は、重複しないこと。(同一チームに同一番号はあってはならない。)なお、投手の背番号は35番以上のナンバーをつけること。

④ 打者・走者・ランナーコーチには、ヘルメットの着用を義務づける。

⑤ 捕手には、プロテクター、レガード、ヘルメットの着用を義務づける。

⑥ 監督は、選手として出場できるものとする。

(5) その他

天候不良による予定変更等の連絡は、開始会場で行う。

9 相撲

1 日 時	令和6年	9月7日(土)・9月8日(日)
	監督会議	9月7日(土) 12:00～
	開始式	13:00～
	団体予選リーグ1～2回戦	13:30～
	Bクラス個人決勝トーナメント	14:40～
	Cクラス個人決勝トーナメント	15:30～
	団体予選リーグ3回戦	9月8日(日) 9:30～
	Aクラス個人決勝トーナメント	10:20～
	団体決勝トーナメント	11:30～

2 会 場 宇佐市総合運動場相撲場

3 実施要領

(1) 種 別

男子郡市対抗

(2) 種 目

①団体戦

②個人戦 Aクラス・Bクラス・Cクラス

(3) 競技方法

① 郡市対抗競技の団体戦は、予選3回戦を行い勝数・得点をもって順位を決定する。さらに上位8チームによる決勝トーナメントを行い、総合順位を決定する。予選において勝数・得点と同じ場合には、同点決勝戦を行い選出する。(出場チームが奇数の場合には、最小得点チームを選び対戦する。)団体決勝トーナメントからは、対戦ごとにオーダーの組み替えを行ってもよいこととする。オーダー組み替えは、必ず競技委員長に届け出ること。

② 個人戦は、Aクラス、Bクラス、Cクラスに分けてそれぞれトーナメントを行う。Aクラスとは大学卒業又は国体等に参加経験のある者で40歳未満とする。Bクラスについては、前述に該当しない者で30歳未満、Cクラスは、A、Bクラスの参加制限に該当しない者。

(4) 参加方法

① 参加は、選手5名、交代4名、監督1名の計10名とする。先発5名の内、Aクラス出場選手は、2名以内とする。

Aクラスとは、大学卒業又は国体等に参加経験のある者で40歳未満とする。Bクラスについては、前述に該当しない者で30歳未満、Cクラスは、A、Bクラスの参加制限に該当しない者。

② 個人戦は、参加選手全員によるA、B、Cクラスのトーナメントで行うことを原則とし、参加クラスを備考欄に記入すること。また、選手が出場しない場合も、その旨申込書の備考欄に記載すること。

※個人戦については、市町村合併の関係で、団体戦に出場しなくても出場を認める。(オープン参加)ただし、傷害保険等は各個人で加入すること。(もし加入しなくても、一切の責任を負わない。)旅費・宿泊費等は個人負担とする。

③ 監督は選手兼任を可とする。(ただし、選手として登録すること。)

(5) そ の 他

① 審判判定は、日本相撲連盟審判規定を適用する。

② 選手資格については、日本相撲連盟競技会規程を適用する。

③ 雨天の場合は、競技団体から中止の通知がない限り実施する。

④ 参加選手は郡市名のゼッケンを必ず付けること。

⑤ 段位取得者は段位章を必ず付けること。

⑥ 個人戦の三位決定戦は、実施しない。

10 バドミントン

1 日 時	令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)
	監督会議 9月7日(土) 11:10
	開始式 9月7日(土) 12:00
	競技開始 9月7日(土) 12:30
	9月8日(日) 10:00

2 会 場 ダイハツ九州アリーナ

3 実施要領

(1) 種 別 男女混成郡市対抗

(2) 種 目 一般男子複、一般女子複、40歳以上男子複、40歳以上女子複、混合複、一般女子単、一般男子単（この順番で試合を行う。）

(3) 競技方法

① 競技は、郡市対抗とし、抽選によるトーナメント方式で優勝を決定する。

3位決定戦は行わない。ただし、一回戦で敗退した郡市同士の9位・13位決定戦を初日に行う。

② 抽選について、16郡市すべてが参加の場合はフリー抽選とする。

ただし、欠場郡市が生じた場合はシード制を導入する。シード後の残り郡市はフリー抽選とする。
なお、シードについては次のとおりとする。

a. 1郡市が欠場の場合、前回の優勝郡市を第1シードとする。

b. 2郡市が欠場の場合、前回の優勝郡市を第1、準優勝郡市を第2シードとする。

c. 3郡市が欠場の場合、前回の優勝郡市を第1、準優勝郡市を第2、前回優勝郡市に敗退した3位の郡市を第3シードとする。

d. 4郡市が欠場の場合、前回の優勝郡市を第1、準優勝郡市を第2、前回優勝郡市に敗退した3位の郡市を第3、前回準優勝郡市に敗退した3位の郡市を第4シードとする。

③ どちらかの郡市が初戦の場合は試合可能種目全試合行い、以降は勝敗決着で終了とする。

④ 選手・監督は、背面に郡市名入りのゼッケンを必ず付けること。

(4) 参加方法

① チームは監督1名と、選手16名以内で編成する。

② 監督の選手としての出場も認める。（この場合、選手名簿にも記入のこと）

③ 4種目以上の試合可能編成であれば参加を認める。（但し、男女共に最少人数を3人とする。）

④ チーム編成で7種目の選手が揃わない場合でも、4種目以上の試合が可能な編成であれば対抗戦も成立するものとする。

⑤ 出場者は、1人一種目とする。一般男女複、混合複、男女単については年齢制限を設けない。

(5) その他

① 競技規則は本年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程並びに同公認審判員規程による。

② 使用用器具

(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び本年度第1種合格水鳥球とし、すべての郡市の持ち寄りとする。

③ 審判員

各郡市選手団に1名以上の(公財)日本バドミントン協会公認審判員の資格取得者を含むこと、または、選手団に帯同すること。(参加申込書に必ず記載する。)

④ 採点

1位、2位、3位(2チーム)、5位(4チーム)、9位(4チーム)、13位(4チーム)に「大分県民スポーツ大会実施要項」「郡市対抗競技採点方法」5項「競技得点」により採点する。なお、参加チーム数により9位・13位決定戦が出来ない郡市チームについては9位の得点を与える。

11 弓道

1 日 時	令和6年	9月7日(土)・8日(日)		
	監督会議		9月7日(土)	9:30
	開始式		〃	10:00
	競技開始	(遠的競技)	9月7日(土)	10:30
		(近的競技)	9月8日(日)	8:30

2 会 場 大洲総合運動公園弓道場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子都市対抗 ② 女子都市対抗

(2) 種 目

- ① 男子遠的 ② 女子遠的 ③ 男子近的 ④ 女子近的

(3) 競技方法

① 審判規定は、全日本弓道連盟競技規則による。ただし、補欠選手との交替を1度目から認め、それでもなお1度目の立から男子4名、女子2名になった場合も団体とする。

② 各競技とも、男子5名、女子3名をもってチームを編成する。

③ 遠的競技(射距離60m、100cm五色的の点数制)

ア 予 選 (各自4矢2立)

1都市、男子は40射、女子は24射の点数により上位8都市を選出する。8都市目が複数の場合は、各自1射の競射により8都市目を決定する。

イ 決 勝 (各自1手によるトーナメント)

男子10射、女子6射の点数によるトーナメント。各自1手による3位決定戦を行う。

④ 近的競技(射距離28m、36cm霞的の的中制)

ア 予 選 (各自4矢2立)

1都市、男子は40射、女子は24射の的中数により上位8都市を選出する。8都市目が複数の場合は、各自1射の競射により8都市目を決定する。

イ 決 勝 (各自4矢によるトーナメント)

男子20射、女子12射の的中数によるトーナメント。各自4矢による3位決定戦を行う。

(4) 参加方法

① 出場者は、大分県弓道連盟会員であること。

② 男女とも近的・遠的にそれぞれ選手を登録できる。(同一選手でなくてもよい)

③ 各都市は、男女それぞれ1名の監督及び近的・遠的にそれぞれ1名の補欠を認める。ただし、選手と補欠の交代は次による。

ア 交替による立順の変更は認めない。

イ 交替により退場した者は再び出場できない。

④ 監督は選手として出場することを認める。

(5) その他

① 都市総合順位は種目順位得点の合計で決める。

都市総合得点 = 男子遠的 + 男子近的 + 女子遠的 + 女子近的 (各種目の順位得点)

② 選手変更届提出時は、立順の変更は認めない。

③ 落雷時は競技を中断し、天候回復後に再開する。

12 ラグビーフットボール

1 日 時	令和6年	8月31日(土)・9月1日(日)・9月7日(土)・9月8日(日)
競技開始	8月31日(土)	12:00 Aパート1回戦
	9月1日(日)	12:00 Bパート1回戦
	9月7日(土)	12:00 A・Bパート準決勝戦
		14:00 タグラグビー(オープン)
	9月8日(日)	11:30 A・Bパート決勝戦

2 会 場 大分スポーツ公園レゾナックサッカー・ラグビー場

3 実施要領

(1) 種 別 ① 男子:郡市対抗 ② 男女混成:オープン競技

(2) 種 目 ① 15人制 ② タグラグビー

15人制

(3) 競技方法

① (I) A、Bパートに分けてトーナメントを行う。(優勝2チーム)

※ただし、参加が8市郡を下回った場合はパート分けせず1つのトーナメントとする。

(II) 全試合25分ハーフで行う。(ランニングタイム)

(III) 同点の場合は、次の規定により次回出場権を決定する。

(ア)トライ数 (イ)トライ後のゴール数 (ウ)抽選

※ ただし、決勝戦は引き分けとし、両チーム優勝とする。

(IV) 日本ラグビーフットボール協会競技規則により実施する。

② (I) オープン競技として実施する。

(II) 日本ラグビー協会、タグラグビー標準競技規則に準ずる

※5人制(試合には常時1名の女性選手を出場させる事) タグ回数4回 5分ハーフ

(4) 参加方法

①監督1名、選手25名(26名登録) ②監督1名を含め5名以上11名以下で登録

※ 監督は、選手を兼ねることができる。

(5) その他

① 本年度の組み合わせは次の通りとする。

昨年度のAパート優勝チームをBパートに、Bパート優勝チームをAパートにシードする。

他はフリー抽選とする。(R5:Aパート優勝 玖珠郡、Bパート優勝 大分市)

※1つのトーナメントになった場合は昨年度優勝市郡を両端に配置し、その他はフリー抽選とする。また、参加市郡が奇数の場合は昨年度優勝チームで抽選してシードを決める。

② タグラグビーについては当日フリー抽選とする。

③ 試合開始60分前にメンバー表を本部に提出のこと。

④ 登録した選手の変更は大分県民スポーツ大会総監督会議までとする。

⑤ 落雷発生時は、直ちに試合を中断する。再開の判断については大会関係者と協議し、決定する。再開出来ず中止の場合は抽選とし、決勝の場合は両チームの優勝とする。

13 自転車競技

1 日 時	令和6年 8月24日(土)トラック競技 8月25日(日)ロード競技
監督会議	9:00～9:20 別府競輪場審判控室
トラック指定練習	8月24日(土) 8:00～9:00(班毎) 別府競輪場走路
開 始 式	8月24日(土) 9:30～9:40 別府競輪場走路
ロード競技受付	8月25日(日) 9:00～9:30
ロード試走	9:30～ (カテゴリー毎に実施)
競技開始(トラック)	8月24日(土) 10:00
(ロード)	8月25日(日) 10:00

2 会 場 トラック競技：別府市亀川東「別府市営別府競輪場」
ロード競技：宇佐市院内町原口「平成令和の森スポーツ公園」周辺特設コース

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目

①郡市対抗競技(18種目)

ア 男子スプリント(1名)	イ 男子ポイントレース(1名)
ウ 男子400mタイムトライアル(40歳以上)(1名)	エ 男子400mタイムトライアル(50歳以上)(1名)
オ 男子400mタイムトライアル(60歳以上)(1名)	カ 男子1kmタイムトライアル(30歳以上)(1名)
キ 男子ケイリン(1名)	ク 男子スクラッチ(1名)
ケ 男子2kmチーム・パーシュート(4名)	コ 男子チーム・スプリント(3名)
サ 男子個人ロードレース(共通)(4名)	シ 男子個人ロードレース(40歳以上)(2名)
ス 男子個人ロードレース(50歳以上)(2名)	セ 男子個人ロードレース(60歳以上)(2名)
ソ 女子400mタイムトライアル(1名)	タ 女子スクラッチ(1名)
チ 女子チーム・スプリント(2名)	ツ 女子個人ロードレース(2名)

(3) 競技方法

- ① 日本自転車競技連盟競技規則及び監督会議の申し合わせ事項により実施する。
- ② 得点はトラック・ロードとも出走者全員(ただし団体種目はチーム)に1点を与える。入賞は各種目8位までとし、1位8点、2位7点、・・・8位1点を与える。ロードの完走者全員に1点を与える。

(4) 参加方法

- ① 参加各郡市は、監督1名、男子選手12名以内、女子選手2名以内、男子補欠3名以内、女子補欠1名以内とする。
ただし、選手または補欠が監督を兼任することができる。(エントリー数最大19名)
- ② トラック競技の個人種目は各郡市1名1種目のみ、団体種目も1名1種目のみとする。
- ③ チーム・パーシュート及びチーム・スプリントの出場者は、正選手及び補欠によって編成し、競技開始15分前までに申告すること。
- ④ 男子チーム・スプリントの出走者の内1名は男子40歳以上とする。
- ⑤ ロードレースの出場選手はロード受付時に申告すること。
- ⑥ 申込後に変更がある場合は、総監督会議(全競技の)までに、変更申込をすること。これ以降の変更は認めない。また補欠の起用は、原則として当日の受付時までとする。
- ⑦ 監督は日本自転車競技連盟公認審判員又はアテンダント有資格者が望ましい。
- ⑧ 選手は日本自転車競技連盟登録競技者(臨時登録者を含む)が望ましい。

(5) その他

- ① 使用する自転車は、日本自転車競技連盟競技規則による。ただし、タイムトライアル、チーム・パーシュート、チーム・スプリントについてはロードレーサーでもよい。女子スクラッチについてはロードレーサーのみとする。
- ② ロードレースは施設使用料、コース設営費として、選手1名につき3,000円の負担金を徴収する。
- ③ 参加選手は、JCFまたはJKA公認のヘルメットを使用すること。
- ④ 競輪場では指定の駐車場(第10駐車場)に駐車すること。競輪宿舎前の駐車場で荷物の積み降ろし後、車を移動すること。
- ⑤ 当日は場外開催中のため、一般席への入場は9時30分からになります。
- ⑥ 参加郡市の控え席は、北門より入り、第2コーナー外側の第4スタンドを御利用ください。
- ⑦ ロード会場は、駐車場に限りがあるため、各郡市乗り合わせの上ご来場ください。
- ⑧ 落雷時は、競技を中断し、天候回復後に再開する。

14 ソフトテニス

- 1 日 時 令和6年8月31日(土)・9月1日(日)
- 監督会議 8月31日(土) 9:00
- 開始式 8月31日(土) 9:30
- 競技開始 8月31日(土) 10:00
- 9月1日(日) 9:00
- (予備日) なし

2 会 場 大分スポーツ公園レゾナックテニスコート

3 実施要領

- (1) 種 別 郡市対抗
- (2) 種 目 団体戦
- (3) 競技方法

- ① 編成は男子フリー3ペア、35歳以上1ペア、45歳以上1ペア、55歳以上1ペア、65歳以上1ペア、女子フリー2ペアの計9ペアの点取り試合とする。
- ② 競技は第1日に4パートによる予選リーグ戦を行い、第2日は第1日の予選リーグ戦の結果にて、決勝トーナメント(1・2位トーナメント、3・4位トーナメント)を行う。
- ③ 予選リーグの組合せは、前年度のベスト4までを各リーグに入れ、他はフリー抽選とする。
- ④ 決勝トーナメントの組み合わせは、1日目の順位ごと抽選を行い、初戦でリーグ戦の同順位の対戦がないようにする。
- ⑤ 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。マッチは全て7ゲームとする。

(4) 参加方法

- ① 出場郡市は男子フリー3ペア、35歳以上1ペア、45歳以上1ペア、55歳以上1ペア、65歳以上1ペア、女子フリー2ペアの計9ペアによってチームを編成し、他に監督1名と補欠を含み25名以内とする。
- ② 監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ 男子フリー、女子フリー以外は男女を問わない。
- ④ 選手変更は、総監督会議までとする。
- ⑤ 年齢は、令和6年4月1日現在とする。
- ⑥ 落雷が予想される、または落雷時には、試合を中断し、天候回復後に再開する。

15 柔道

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
審判・監督会議 9:30 開始式 10:00 競技開始 10:30

2 会 場 レゾナック武道スポーツセンター(武道場1・2・3)

3 実施要領

(1) 種 別 ① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目 団体戦

(3) 競技方法

① 競技は、2～4チームにより予選リーグを行い、各パートの1位チームを決勝トーナメント進出チームとして選出する。

② 選出されたチームを抽選により組み合わせ、決勝トーナメントで順位を決める。

(4) 参加方法

① 出場者は、全日本柔道連盟に登録していること。

② 監督は全日本柔道連盟の公認指導者資格を有する者とする。

③ 監督は選手を兼ねることができるものとする。

④ 男子チーム編成は、監督1名、選手5名(先鋒、次鋒は三段以下、中堅は参段以下、副将及び大将は段位を問わないとする)、補欠3名の計9名とする。女子チーム編成は監督1名、選手3名(段位・体重の区分なしの自由配列)、補欠2名の6名とする。

⑤ 男子において所定の階級に該当者がない場合、下位の階級者をもってあてることができる。女子において出場選手が2名だった場合は、先鋒の位置を空けることとする。

⑥ 原則としてオーダーの変更は認めないが、負傷又は止むを得ない理由により、選手(補欠)に変更が生じた時は、総監督会議までに所定の用紙に記入のうえ、2部県体事務局に申し出ること。ただし、選手(補欠)の変更は特別の事情のない限り認めない。

(5) その他

① 審判は、国際柔道連盟試合審判規定(2022年4月1日から施行の新ルール)による。

② 優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「指導2差」以上とする。

③ 判定の優劣は「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」とする。

④ 男女ともに試合時間はすべて3分間とする。代表戦において勝敗が決しない場合は旗判定とする。

⑤ 郡市対抗及び予選リーグの勝敗決定方法は以下のとおりとする。

ア 勝者数(「一本勝ち」、「優勢勝ち」等を問わない)の多いチームを勝ちとする。

イ 勝者数が同じ場合は、「一本勝ち」の多い方を勝ちとする。この場合、「不戦勝ち」、「棄権勝ち」、「負傷勝ち」、「反則勝ち」、「失格勝ち」等も、「一本勝ち」と同等に扱う。

ウ 前項における「一本勝ち」も同数の場合は、「優勢勝ち」のうち「技あり」次に、「指導差2以上」による「優勢勝ち」の多い方を勝ちとする。

エ 予選リーグにおいて内容が同等の場合は、その試合を引き分けとする。予選リーグにおけるチーム間の勝敗は、前項のA項、イ項、ウ項に基づき、「①チーム勝敗」「②勝者数」「③総得点」の順で決定するが、同率同点の場合は、自由代表者1名によって勝敗を決する。代表戦の本戦において勝敗が決しない場合は旗判定とする。なお、予選リーグにおいては、「一本勝ち」「技有勝ち」「僅差勝ち」にそれぞれ、「10点」「7点」「5点」の得点を与える。

オ 決勝トーナメントにおいて内容が同等の場合は、引き分けの下位から再試合を順に行い勝敗を決するものとするが、なお勝敗が決しない場合は、自由代表者1名によって勝敗を決する。代表戦の本戦において勝敗が決しない場合は旗判定とする。

⑥ 補欠の交替はチーム編成の順に従うものとするが、交替者の位置に補充すること。(上記(3)参加方法の③を参照)

⑦ ゼッケンについて

※選手は、郡市名・姓の入ったゼッケンを次の基準により必ず縫い付けること。

ア ゼッケンを付けていない者は失格とする。

イ 布地は白色(晒・太綾)

ウ サイズは、横30cm～35cm・縦25cm～30cm

エ 名字(姓)は、上側2/3、郡市名下側1/3

オ 書体は、太いゴシック(又は楷書)、男子黒色・女子赤色

カ 縫い付け場所は、上衣の後襟から10cm下部の所で対角線にも強い糸で縫い付けをする。

(下図参照)

図1

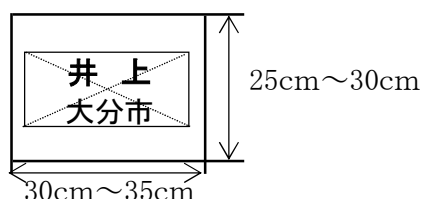
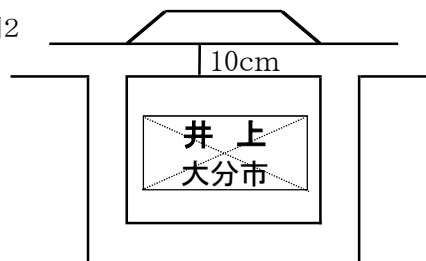


図2



⑧ 柔道着のサイズは、国際柔道連盟に準ずるサイズであること。(公認マークの有無は問わない)

⑨ 女子の黒帯は、白線入りの黒帯でも参加を認める。

⑩ 選手の有する段位に虚偽の申請があった場合、その郡市は失格とする。

⑪ 女子の軽量は、当日の9時から行う。

⑫ 各郡市帯同審判員を1名派遣する。男子・女子のみ参加する郡市についても、1名を派遣する。(派遣が困難な場合は、大分県柔道連盟まで連絡すること)

16 剣道

1 日 時	令和6年 9月8日(日)
開 場	8:30
受 付	8:30
審判会議	9:00
監督会議	9:10
開 始 式	9:30
競技開始	10:15

2 会 場 杵築市文化体育館

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 団体戦

(3) 競技方法

- ① 前年度の1位から4位をシードし、他はオープン抽選を行い、4パートに編成する。
- ② 各パートごとに予選リーグを行い、パートごとに順位を決定し、各パート1位・2位の8チームで決勝トーナメント戦を行い順位を決定する。
なお、3位決定戦を行う。
- ③ その他詳細については、監督会議で決定する。

(4) 参加方法

- ① 参加者は大分県剣道連盟会員であること。
- ② チーム編成は、監督1名、選手7名(25歳未満1名、25歳以上35歳未満2名、35歳以上45歳未満2名、45歳以上55歳未満1名、55歳以上1名)、補欠2名の計10名とする。
ただし、選手の構成上やむを得ず充当できない場合は、高年齢者が低年齢者のところに
出場しても可。(国体基準に準ずる) ※監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ 国体形式とし、職業、段位の制限はしない。
- ④ 年齢の基準は、令和6年4月1日とする。

(5) その他

・競技規則

- ① 全日本剣道連盟剣道試合、審判規則とその細則及びコロナ対策暫定規則による。
- ② 試合時間は4分3本勝負とし、勝負の決しないときは引き分けとする。
- ③ チームの勝敗は、勝者数法による。なお、リーグ戦試合内において同点の場合は、代表戦は行わない。
- ④ 予選リーグの順位決定は(ア)～(カ)で決定する。
(ア)勝ち数の多いチーム
(イ)負け数の少ないチーム
(ウ)勝者数の多いチーム
(エ)総本数の多いチーム
(オ)ア～エが同数の場合は、敗者数の少ないチームを上位とする
(カ)ア～オまでが同数の場合は代表戦を行う
- ⑤ 代表者戦は、監督の抽選によりポジションを特定、4分1本勝負とし、時敗が決しない場合は、延長戦を行う。時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗が決するまで行う。
- ⑥ 選手の登録に虚偽の申請があった場合は、そのチームを失格とし最下位とする。
- ⑦ 所定の年齢のポジションが欠員の場合、そのまま出場を認める。
- ⑧ 郡市名、姓の入った名札をつけること。
- ⑨ 大会開催基準要綱8、大会の参加及び参加資格の(1)、(2)、(3)項による。
- ⑩ 事務連絡等については剣道連盟ホームページ等で随時発信・更新する。

17 山岳

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・8日(日)

9月7日(土)

中津市立三光中学校体育館(以下「体育館」)集合	10:00までに
受付(「体育館」)	10:00～10:30
監督・リーダー会議(体育館)	10:30～11:00
開始式(「体育館」)(終了後、三光中学校敷地内に待機)	11:00～11:30
中津市立三光中学校グラウンド(以下「グラウンド」)に集合	～13:00
「グラウンド」集合完了、開始通告	13:00
踏査競技(「グラウンド」前スタート・ゴール)	13:00～15:00
監督会議(「体育館」)	16:30～17:00

※幕営地を設定しない

9月8日(日)

八面山野外音楽堂集合、開始通告	10:00
縦走競技(八面山野外音楽堂～八面山山頂)	10:00～12:30
終了後待機	
表彰式(「体育館」)	14:30

2 会 場 中津市 八面山(本部 中津市立三光中学校体育館)

3 実施要領

(1) 種 別 ア 男子郡市対抗 イ 女子郡市対抗

(2) 種 目 ア 踏査登山競技 イ 縦走登山競技

(3) 競技方法

- ① 郡市対抗(男女別に競技し、その合計得点によって、郡市の順位を決定する。)
- ② 審査の対象は男・女とも選手3名とする。
- ③ 装備は県民スポーツ大会山岳競技に適したものであること。
競技中、身体を保護するため、下半身は、足首まで覆えるズボン類に限定する。(長ズボン、スポーツタイツ等)。ただし、履き物は運動靴でもよい。サブザックを持参すること。
- ④ 縦走登山競技での負荷重量は、男子チーム40.0kg以上、女子チーム30.0kg以上とする。
踏査登山競技での負荷は制限しない。ただし、日帰り登山に必要な装備を持つこと。
- ⑤ 踏査登山競技は、別紙地図に示した枠内の区域で実施する。
- ⑥ 監督は、競技実施中個人装備のみを持つこと。

(4) 参加方法

- ① 監督1名、選手(男女別に)5名で申し込むこと。男女とも選手1名をリーダーとする。
監督の選手としての出場は認めない。監督・選手の変更は県の総監督会議までとする。
5名のエントリーメンバーの中から第1日目の受付時に縦走・踏査登山競技選手3名を計画書に記載して提出すること。縦走登山競技と踏査登山競技の選手は同一でなくてもよい。
- ② 白地に郡市名と氏名を記入した縦4cm、横7cmの胸章を左胸につける。リーダーは外枠を赤色にする。監督は郡市の腕章をつける。さらにザック(メイン・サブ)及び雨具にも白地に郡市名を記した標識をつける。

(5) その他

- ① 地図は、2万5千分の1(国土地理院発行)「土佐井」を使用する。
(地図は最新版で競技運営をする。「土佐井(平成29年10月 調整)」)
- ② 各郡市とも、郡市旗を持参すること。竿は本部で用意する。
- ③ 昼食時等に出た残飯類、ゴミ、空き缶、空き瓶等は全て各自で持ち帰ること。
- ④ 競技に関する連絡、資料の送付等は原則として大分県山岳連盟のブログで行うので、各チームは各自で確認し、提出文書の様式等はダウンロードして使用すること。
- ⑤ 落雷発生時は、競技を中断し、天候回復後に再開する。

18 サッカー

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・8日(日)
競技開始 9月7日(土) 9:30～
9月8日(日) 9:00～

2 会 場 別府市実相寺サッカー競技場(天然芝・人工芝)
別府市実相寺多目的グラウンド
別府市野口原総合運動場陸上競技場

3 実施要領

(1) 種 別

男子郡市対抗(1郡市1チーム)

(2) 種 目

11人制

(3) 競技方法

- ① 競技時間は60分とし、勝敗の決しない場合はPK方式により次回戦の出場チームを決定する。決勝戦は20分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により決定する。
- ② 競技は、トーナメント方式とする。
- ③ 競技規則は、(公財)日本サッカー協会競技規則によるものとし、交替は7名までとする。

(4) 参加方法

- ① 県民スポーツ大会実施要綱の参加資格による。
- ② チームは監督1名、チームスタッフ1名以内、選手18名以内の合計20名以内の登録とする。監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ 当日の選手変更は認めない。
- ④ 2着(正・副)のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。
- ⑤ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑥ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ⑦ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑧ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑨ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

(5) その他

- ① 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
- ② 試合開始30分前までに、その試合のメンバー表(4枚)を本部へ提出のこと。
- ③ 退場を命じられた選手は、次の1試合には出場できず、それ以降の処遇については、(一社)大分県サッカー協会規律委員会の裁定に従うこととする。
- ④ 本大会は警告の累積を行い、2回警告を受けた選手は次の1試合の出場を停止する。
- ⑤ 試合球は各チーム持ち寄りとし、モルテン社製の試合球5号(検定球)を必ず用意すること。
- ⑥ 本大会においての事故、ケガ等に関しては、各自の責任において処理をし、主管競技団体は一切の任を負わないこととする。
- ⑦ 本大会において準々決勝までは、各郡市チームにおいて帯同審判で行うこととする。
- ⑧ 審判該当郡市チームは、(公財)日本サッカー協会が認定した有資格者で行うこと。
- ⑨ 審判員は(公財)日本サッカー協会発行の審判証(ID)を必ず本部に提出し、審判服を着用すること。
- ⑩ 落雷など悪天候における中断などは(一社)大分県サッカー協会の規定に基づき、再試合が行えない場合は抽選を行い次回戦進出チームを決定する。但し決勝戦のみ両チーム優勝とする。

19 ソフトボール

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日) 予備日9日(月)

競技開始 9月7日(土) 9:30(男子・女子)
9月8日(日) 9:00(男子・女子)
9月9日(月) 予備日

2 会 場 男 子 高田市民グラウンド (A)
香々地市民グラウンド (B)
真玉中学校グラウンド (C)
女 子 宇佐市総合運動公園多目的競技場 (D)
中津市田尻ソフトボールグラウンド (E) (F)
2日目 宇佐市総合運動公園多目的競技場 (D)

3 実施要領

(1) 種 別

① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

ソフトボール

(3) 競技方法

- ① 競技規則は2024年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する。DPを使う場合、FPは当該DPと同一年齢層の者とする。
- ② 競技は、全てトーナメント方式で7回戦とする。ただし、90分の時間制限を適用し、90分を超えて新しい回には入らない。90分以内で7回を終了し同点の場合は、90分を超えるまでは、タイブレークを行う。90分を超えて同点の場合は、抽選とする。但し、準決勝、決勝戦は、90分を超えても同点の場合は、2回限りタイブレークを行い、なお同点の場合は抽選とする。
- ③ 5回以降7点差以上の場合は、コールドゲームとする。
- ④ 使用球はゴム検定3号ボール(開催主管支部が用意する)、バットは検定3号バットとする。投手用ロジンは参加チームで用意し、試合前に審判員に確認を受ける事。
- ⑤ 塁間は男女とも18.29m、投捕間は男子14.02m、女子12.19mとする。
- ⑥ 打者、走者、次打者は両耳ヘルメットを必ず着用する。
- ⑦ サスペンデッドゲームを採用する。
- ⑧ 怪我等危険防止の為、金属製スパイク(セラミック製を含む)の使用を禁止する。

(4) 参加方法

- ① チームは監督、コーチを含め20名以内とし、監督、コーチは選手を兼ねることができる。ただし、異性の監督、コーチは選手を兼ねることはできない。
- ② 男子は30歳未満3名・30歳以上40歳未満3名・40歳以上50歳未満2名、50歳以上1名を常時出場させる。但し、上位年齢層の者は、下位年齢層の者に替わることができるがこの場合は当日の打順表に、年代を記載することとする。(ユニフォームナンバーは変更しなくて良い)
- ③ 女子は、35歳以上の選手を常時3名以上出場させる。
- ④ 年齢は、2024年4月1日現在の満年齢とする。
- ⑤ 男子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、30歳未満20番台・30歳以上40歳未満は30番台・40歳以上50歳未満は40番台・50歳以上は50番台で申し込みを行う。又、ユニフォームに縫いつける事。(安全ピン等は危険防止の為不可)監督は赤色・主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑥ 女子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、35歳以上は30以上を、35歳未満は29以下を縫いつける。監督は赤色リボン、主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑦ 胸のマークは、郡市名とする。
- ⑧ 不正出場は、大会要項に基づき失格とする。

(5) その他

- ① 決勝戦終了後、男子会場・女子会場で表彰式を行う。
- ② 雨天時の対応について
1日目・2日目 雨 → 中止
1日目・2日目どちらか雨 → 予備日で行う。(試合開始時間を早めることがある。)
- ③ 落雷及び雷鳴が聞こえた場合、協会競技規則を適用して試合を中断し、天候回復後に再開する。

議員ソフトボール（公開競技）

1 日 時 令和6年 8月24日(土)、8月25日(日)

競技開始 8月24日(土) 10:00

8月25日(日) 9:00

2 会 場 野口原ソフトボール場A (G)

野口原ソフトボール場B (H)

野口原軟式野球場 (I)

3 実施要領

(1) 種 別

議会議員

(2) 種 目

ソフトボール

(3) 競技方法

- ① 競技規則は2024年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する。
- ② 競技は、全てトーナメント方式で5回戦とする。ただし、60分を超えるときは新しい回に入らない。
- ③ 延長戦は行わない。勝敗が決しないときは抽選とする。
- ④ 得点差による、コールドゲームは適用しない。
- ⑤ 使用球はゴム検定3号ボール(開催主管支部が用意する。)、バットは検定3号バットとする。
投手用ロジンは参加チームで用意し、試合前に審判員に確認を受ける事。
- ⑥ 塁間は18.29m、投捕間は12.19mとする。
- ⑦ 金属製スパイク(セラミック製を含む)の使用を禁止する。
- ⑧ 打者・走者・次打者は両耳ヘルメットを、捕手はマスク・捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及びレガーズを必ず着用すること。

(4) 参加方法

- ① チーム編成は県、市及び郡単位とする。
- ② チームは、監督・コーチを含め20名以内とする。ただし、監督・コーチは選手を兼ねるものとする。
- ③ ベンチに入ることができるのは、参加申込書に記載された監督、コーチ、選手に限る。
- ④ ユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は必ずつけること。ただし、主将は10、監督は30、コーチは31・32とする。(安全ピン等での取り付けは危険防止の為不可)
- ⑤ 胸のマークは郡市名とする。ただし、県議会は大分県議会又は県議会とする。

(5) その他

- ① 決勝戦終了後、優勝の表彰式を野口原ソフトボール場Aで行う。
- ② 雨天時の対応について
1日目・2日目 雨 → 中止
1日目 雨 → 2日目にベスト4まで行う。
- ③ 落雷及び雷鳴が聞こえた場合、協会競技規則を適用して試合を中断し、天候回復後に再開する。

20 バレーボール

- 1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)
開 始 式 9月7日(土) 9:00 サイクルショップコダマ大洲アリーナ
競技開始 9月7日(土) 10:00 予選グループ戦
予選グループ戦後【抽選会】
決勝トーナメント1回戦
9月8日(日) 9:30 決勝トーナメント準々決勝～決勝

- 2 会 場 サイクルショップコダマ大洲アリーナ(大・小体育室)9月7日(土)・8日(日)
県立大分商業高等学校体育館 9月7日(土)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

9人制

(3) 競技方法

- ① 競技はすべて郡市対抗とする。
② グループ戦の後、トーナメント方式で行う。
③ 3位決定戦は行わない。
④ 前回上位2郡市を予選グループ戦のシード対象とし、同グループに入らないものとする。
また、対象郡市が決勝トーナメントに勝ち進んだ場合は、シード対象とする。ただし、対象郡市がグループ戦で1敗し復活出場した場合は、決勝トーナメント戦でのシード権を失う。
(令和5年度 男子1位 大分市 2位 別府市 女子1位 日田市 2位 大分市)

(4) 参加方法

- ① 参加チームは、各郡市とも予選または推薦を経た1チームのみとする。
② 各種別とも住民登録によるチーム編成とする。
③ チーム編成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内、計18名以内とし、ユニフォームの番号は1～15が望ましい。
④ 監督は、選手を兼ねることができる。

(5) その他

・競技規則等

- ① ルールは、2024年度日本バレーボール協会制定9人制による。
ただし、競技者交代の回数は制限しないが交代要領は9人制競技規則による。
② ボールは、日本バレーボール協会公認5号球人工皮革(カラー)とする。
③ 男子:ミカサ(V300W)・女子:モルテン(V5M5000)
④ 本大会は、各セット11点で30秒間の給水タイムを設定する。

21 ハンドボール

1 日 時 令和6年 9月7日(土)
競技開始 9月7日(土) 9:30

2 会 場 県立大分舞鶴高等学校多目的競技場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子の部を公開(非採点)競技として実施

(2) 種 目

7人制

(3) 競技方法

- ① 競技はトーナメント方式による。
- ② 試合は25分ハーフ(休憩10分)とする。
- ③ 同点の場合は第1延長戦を行い、決しない場合は、7mスローコンテストを行う。
- ④ 競技規則は、2024年度日本ハンドボール協会競技規則による。
- ⑤ 松ヤニ及びスプレーの使用は禁止する。

(4) 参加方法

- ① 各チームは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名、計18名で編成する。
※ 監督は、選手を兼ねることができる。
- ② 背番号は必ず付けること。

2 2 ライフル射撃

1 日 時 令和6年 7月27日(土)・28日(日)
 監督会議 7月27日(土) 10:00
 開始式 7月27日(土) 10:45
 競技開始 1日目 7月27日(土) 12:00

12:00 12:40	13:10 13:50
BRT40W	BRT40W
(女子)1射群	(女子)2射群
12:00 12:45	13:15 14:00
BP40W	BP40W
(女子)1射群	(女子)2射群

2日目 7月28日(日) 9:30～15:00

9:30 10:30			
ARS40M・W			
(男子・女子)			
9:30 10:30			
ARP40M・W			
(男子・女子)			
9:30 10:20	10:50 11:40	12:10 13:00	13:30 14:20
BRS40W	BRS40W	BRS40M	BRS40M
(女子)1射群	(女子)2射群	(男子)1射群	(男子)2射群
9:30 10:15	10:45 11:30		
BP40M	BP40M		
(男子)1射群	(男子)2射群		

表彰式 7月28日(日) 15:00(射撃場内)

2 会 場 県立庄内屋内競技場

3 実施要領

- (1) 種 別 郡市対抗
- (2) 種 目
- A AR伏射40発(ARP40M・W)【男子・女子混合】
 - B BR女子肘射40発(BRT40W)(女子)
 - C BR立射40発(BRS40M)(男子)
 - D AR立射40発(ARS40M・W)【男子・女子混合】
 - E BP40M(男子)
 - F BP40W(女子)
 - G BR女子立射40発(BRS40W)(女子)
- (3) 競技方法 競技種目は、日本公式AR・BR競技規則による。
- (4) 参加方法
- ① 種目A・B・C・D・E・F・Gは、各1名であること。
 - ② 監督1名、選手7名、補欠2名(男1、女1)とする。(計10名)
 - ③ 監督は選手兼任を可とする。
 - ④ 補欠選手登録については競技参加枠が空欄競技があれば登録は認めないものとする。
 - ⑤ 各郡市においては、1種目(1名)のみの参加でも可。
 - ⑥ 郡市のゼッケンを必ずつけること。
- (5) その他 得点については、種目順位得点の合計点の多少による。

23 クレー射撃

1 日 時	令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)
監督会議	9月7日(土) 9:00 場所: 玖珠クレー射撃場
開始式	9月7日(土) 監督会議終了後
競技開始	9月7日(土) 開始式終了後
	9月8日(日) 9:00 スキート
	9:00 トラップ

2 会 場 玖珠郡玖珠町
玖珠クレー射撃場

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ① トラップ射撃

② スキート射撃

(3) 競技方法

トラップ、スキートとも1人75ヶ撃ち(3ラウンド)として2日間に分射する。

(4) 参加方法

各チームは監督1名、トラップ選手3名・スキート選手3名、補欠1名、計8名以内で編成すること。

監督は選手兼任を可とする。

(5) そ の 他

① ルールは、県民スポーツ大会ルールとする。

② 装弾は、日本クレー射撃協会検定装弾を使用のこと。

③ 郡市単位にて、種目別オープン参加を認める。郡市スポーツ協会に所属していれば、1種目の参加でも得点を認める。

④ 郡市旗をできるだけ持参のこと。

⑤ 郡市名を入れたゼッケンを必ず着けること。

⑥ 監督会議の出席は、監督又は選手のみとする。

⑦ クレー代として、1人5,000円を徴収する。

⑧ 個人戦は、上位6名でファイナル戦(1ラウンド)を行う。

⑨ 競技途中での選手交代は認めない。

⑩ 落雷時は、競技を中断し、天候回復後に再開する。

24 銃剣道

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
監督会議 9:30
開始式 10:00
競技開始 10:30

2 会 場 禅海スポーツセンター

3 実施要領

(1) 種 別

① 郡市対抗

(2) 種 目

個人戦(銃剣道・短剣道)

(3) 競技方法

① 団体試合の試合時間は、3分1本勝負、勝敗が決しない場合は判定とする。

勝敗が同数の場合は、勝本数の多いチームの勝ちとする。勝数・勝本数が同数の場合は、代表戦(自衛官を除く)によって決める。

この場合は、3分1本勝負、勝敗が決しない場合は判定とする。

② 個人試合は、年齢順に組み合わせ、トーナメント方式で行う。

3分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は判定とする。

(4) 参加方法 (年齢は、令和6年4月1日の満年齢とする。)

① 団体試合は、監督1名、選手5名、補欠3名を1チームとする。先鋒・次鋒は自衛官、大將は、50歳以上及び女性とする。

② 個人試合は、銃剣道・短剣道に区分し、銃剣道は50歳以上と50歳未満及び女性の部に区分する。ただし、銃剣道は自衛官を除くものとし、1チームの出場選手数の制限はしない。

③ チーム中に現役自衛官を2名まで入れてもよい。ただし、女性はその限りでない。

④ 監督は、選手を兼ねることができる。

(5) その他

・注意

① 各選手は中央垂一面に黒布をつけ、団体名、姓を白書し、縫着する。

② 各チームの監督は、その責任を明確化するため腕章を着用する。

③ 試合者の服装は、銃剣道等の服装に関する基準「白色の運動服上下又は袴」(袴を着用する場合は、白又は紺でチームを統一する。)とともに、右腕に段位章を装着する。

④ 審判員の構成は、主審1名、副審2名をもって組織する。

⑤ 審判員の服装は、銃剣道試合審判規則及び細則による。他、大会本部が示す。

⑥ 「銃剣道・短剣道教則」「銃剣道試合・審判規則及び細則」並びに本競技会試合規則に従って勝敗を決定する。

⑦ 木銃は、「銃剣道教則」別図第2を基準とする長木銃とし、突起部から40cmの位置とそこから20cmの位置に幅約1cmの白テープを巻いた木銃を使用するものとする。

⑧ 短竹刀は、「短剣道教則」附図の短剣道竹刀(一般用)とし、他は使用できない。

⑨ 道場内での運動靴の使用を禁止する。

25 ボウリング

1 日 時	令和6年	9月7日(土)・9月8日(日)		
	監督会議	9月7日(土)	9:00	場所:さくらボウル
	選手集合		9:00	〃
	開始式	〃	9:30	〃
	競技開始	9月7日(土)	10:00 ~ 11:30	2人チーム戦(前半)
			11:40 ~ 13:10	2人チーム戦(後半)
			13:20 ~ 15:50	3人チーム戦(前半)
			16:00 ~ 18:30	3人チーム戦(後半)
		9月8日(日)	8:30 ~ 10:00	個人戦(前半)
			10:10 ~ 11:40	個人戦(後半)
			11:50 ~ 14:50	男女混合4人チーム戦(前半)
			15:00 ~ 18:00	男女混合4人チーム戦(後半)
			18:30 ~	表彰式・閉会式

2 会 場 さくらボウル(22レーン・11ボックス)

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗

(2) 種 目

- ① 2人チーム戦(6ゲーム)(1チーム参加)
- ② 3人チーム戦(6ゲーム)(1チーム参加)
- ③ 男女混合4人チーム戦(6ゲーム)(1チーム参加)
- ④ 個人戦(6ゲーム)(2名参加)

(3) 競技方法

- ① 各種目ごとに定められたゲーム数を投球し、合計点で順位を決定する。
(HCは女子のみ1G-15P)
- ② 各種目の得点及び郡市別の総合得点は、実施要項の郡市対抗競技採点方式により決定する。
- ③ 競技は、(公財)JAPAN BOWLING(JB)の競技規則に基づく。

(4) 参加方法

- ① 各郡市に居住し選抜された者で、監督・補欠を含め12人以内。(監督と選手は兼ねることができる)
(年齢は令和6年4月1日現在の満年齢)
- ② 競技申込は、受付時に各種目別のメンバー表を提出し、各競技開始30分前までに終了のこと。
- ③ 服装は、スポーツのできるシャツを着用し、背部に郡市名の判断できるゼッケンをつけること。
- ④ ボウルは各自のボウルを使用する。また、競技場に備付のボウルを使用しても可とする。
- ⑤ ゲーム料として、1ゲームあたり600円を徴収する。
(全種目参加の場合は、66ゲーム)

26 セーリング

1 日 時	令和6年	9月7日(土)・9月8日(日)		
	監督会議	9月7日(土)	9:30	
	競技日程	9月7日(土)	10:00	開始式
			11:30	男子種目第1レース
			引き続き	男子種目第2レース
			引き続き	女子種目第1レース
		9月8日(日)	10:30	男子種目第3レース
			引き続き	女子種目第2レース
			引き続き	女子種目第3レース
			15:00	表彰式

2 会 場 別府北浜ヨットハーバー

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

A シングルハンダー級 B ウインドサーフィン級

(3) 競技方法

- ① セーリング競技規則2021-2024、に定義された規則を適用する。
- ② 各種目の参加人員は、下記の通りとする。
総監督 1名(セーリング・マネージャー)
男子 監督1名・選手12名(シングルハンダー級4名(補欠2名)、ウインドサーフィン級4名(補欠2名))
女子 監督1名・選手5名(シングルハンダー級2名(補欠1名)、ウインドサーフィン級1名(補欠1名))
- ③ 各種目ごとに3回のレースを行う。ただし、天候そのほかの事情により3回のレースが実施できなかった場合でも、それぞれの種目でレースが1回以上成立していればその種目は有効とする。
- ④ 各種目のレースに使用する競技艇及びライフジャケットは、参加郡市が持参すること。
- ⑤ 各郡市が持参する参加艇は、所定の申込用紙により正式に参加登録を行った艇に限る。
- ⑥ セールに郡市ナンバーを貼付すること。(貼付方法並びに郡市ナンバーは別紙による)

(4) 参加方法

大分県民スポーツ大会開催基準要綱8に定めるもののほか次による。

- ① 選手及び監督は、大分県セーリング連盟会員であることとする。
- ② 監督は、選手として出場できるものとする。

(5) その他

・表 彰

- ① 男女総合成績第1位から3位までの郡市に表彰状を与える。
- ② 各種目第1位から3位までの郡市に表彰状を与える。

・参加申込みについて

参加申込みは、所定の用紙により申込みをする。

・落雷時の対応について

競技を中断し、天候回復後に再開する。

27 空手道

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
監督会議 9:00
開始式 9:30
競技開始 10:00

2 会 場 サイクルショップコダマ大洲アリーナ(剣道場)

3 実施要領

(1) 種 別
郡市対抗

(2) 種 目

- ① 一般男子団体組手
- ② 一般男子個人形
- ③ 一般男子個人組手
- ④ 一般女子個人形
- ⑤ 一般女子個人組手

(3) 競技方法

- ① 競技ルールは各種目とも「(公財)全日本空手道連盟、空手道競技規定」によるものとする。
- ② 個人形は、男女とも各郡市代表選手(1名)による得点方式とする。
演武は各選手2回行うものとし、1回目は指定形、2回目は得意形とする。
ただし、同一形は繰返し演武出来ない。
- ③ 一般男子団体組手は、各郡市団体(3名)によるトーナメント方式とする。
- ④ 個人組手は、男女とも各郡市代表選手(1名)によるトーナメント方式とする。

(4) 参加方法

- ① 各郡市スポーツ協会へ提出する所定の「参加申込書」の(写)を「県空手道競技実行委員会(県連事務局)」へ送付し、参加資格の審査を受けるものとする。
- ② 各郡市の編成は監督1名とし、選手・補欠は次の通りとする。※監督は選手兼任を可とする。

団体組手	選手3名・補欠2名
男子個人形	選手1名・補欠1名
男子個人組手	選手1名・補欠1名
女子個人形	選手1名・補欠1名
女子個人組手	選手1名・補欠1名

※団体戦・個人戦における重複出場は可とする。
- ③ 参加資格(不正出場の場合、失格で最下位となります。)
大分県に在住(住民票を有し、居住実態がある)する社会人及び学生。
県内中学、高校を卒業し、ふるさと選手登録をした社会人及び学生。
※(公財)全日本空手道連盟および大分県空手道連盟双方に登録されている者(監督を含む)。なお、監督は連盟主催の審判講習会を受講した者に限る。

(5) その他

- ① 採点方法
大分県民スポーツ大会所定(主催者)の競技採点方式により、各競技種目別順位並びに総合順位を決定する。
- ② 表 彰
各種目及び総合3位までを表彰する。なお、組手競技の3位決定戦は行わない。
- ③ 諸 注 意
※大会役員、審判員委嘱を受けた役員は当日「印鑑」を持参してください。
※出場選手の変更は総監督会議までとし、以降の変更は認められない。
安全具は(公財)全日本空手道連盟検定のものを使用する事。
安全具6点セット(ニューメンフォー、拳サポーター、ボディプロテクター、セーフティカップ【女子は除く】、シン・インステップガード)を着用義務とする。

28 アーチェリー

1 日 時	令和6年 9月8日(日)				
	会場設営	9月7日(土)	10:00	(各郡市、2名の参加)	
	監督会議	9月7日(土)	17:00	(会場設営終了後)	
	開始式	9月8日(日)	8:45		
	競技開始	9月8日(日)	9:00	午前50m	午後30m

2 会 場 三光総合運動公園 多目的広場

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗

(2) 種 目

① 団体競技(男女混合3位まで表彰)

② 個人競技(男女各3位まで表彰)

(3) 競技方法

① 50m、30m(各36射)72射の合計

② 弓具及びルールについては、全日本アーチェリー連盟競技規則による。

(4) 参加方法

① 参加者は、大分県アーチェリー協会登録者に限る。

② 団体競技においては、各郡市9名を出場人数とする。

ただし、男女混合でもよいが、男女いずれか一方が7名以上の参加は認めない。

③ 個人競技においては、団体参加者の男、女の選手により競技する。

④ チーム編成は、監督1名、選手9名以内、計10名以内とし、監督が選手を兼ねてもよい。

(5) その他

・採点方法

大分県民スポーツ大会郡市対抗競技採点方法によるほか、次による。

① 団体9名のうち、上位3名の記録の合計により郡市の団体順位を決定する。

また、合計得点と同点の場合は、記録上位者のいる郡市が上位になる。

② 個人男子、個人女子ともに、郡市得点の採点対象とはしない。

・落雷時の対応について

競技を中断し、再開については競技役員が相談し、決定する。再開出来ない場合は、それまでの成績をもって順位を決定する。

29 スキー（第78回）

1 日 時	令和7年 1月25日(土)～1月26日(日) (予定)
開会式	1月25日(土) 17:00 筋湯観光ホテル(予定)
インスペクション	1月26日(日) 9:00 チャレンジ・ファミリーゲレンデ
競技開始	1月26日(日) 9:30 チャレンジ・ファミリーゲレンデ
閉会式	1月26日(日) 15:00 レンタルハウス前

2 会 場 九重森林公園スキー場 Tel:0973-79-2200/Fax:0973-79-2271

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

ジャイアントスラローム

(3) 競技方法

- ① 全日本スキー連盟競技規則を準用する。但し本大会において定めた規約が優先する。
- ② 出走は1回とし、タイムで順位を決める。(制限タイムは3分以内とする。)
- ③ 出走順は一般女子一般男子の順で行い、郡市順は抽選により決定し、第2出走者以降は、逆順、正順を繰り返す。それぞれの出走順は郡市ランキング1位からとする。

(4) 参加方法

- ① 参加各郡市は、所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、紙媒体及びデータで大分県民スポーツ大会事務局(体育保健課内)へ申し込むこととする。
- ② 参加選手は大分県スキー連盟会員であること。
- ③ 選手男子5名、女子4名、監督男女各1名とする。
但し、選手と監督を兼ねることができる。
- ④ 申込み締め切り後の選手の変更は認めない。
- ⑤ 申込締切
令和7年1月7日(火)必着
- ⑥ 抽 選
令和7年1月9日(木)体育保健課内

(5) そ の 他

・採点方法

- ① 得点に採用する記録は各郡市男子5走中上位4名の記録を採用し、女子4走中上位3名の記録を採用する。男女とも得点対象選手数プラス1点を優勝選手の得点とし、2位選手を出走選手数マイナス1点とする。以下1点を減じ、出走後の棄権・タイムオーバーについては最下位点(1点)を与える。不出走は0点とする。

・表彰

- ② 男女とも選手の得点を合計し郡市順位を決め、上記同様の方法で郡市得点を与える。総合順位は、男女の郡市得点を合計して決める。
但し、同順位の場合は次の得点を加え等分する。

・諸注意

- ① 出場選手は傷害防止のためクラッシュヘルメットを着用すること。非着用者の出走は認めない。ストッパーは必ず使用することとし、未使用者の出走は認めない。
- ② インスペクションは、26日9時から20分間とし、ゼッケンを見えるように着用の上デラパーージュで行うこと。違反者については一度注意を促し、2度目は失格として出走させない。
- ③ 本要項及びそれ以外の事項について疑問が生じた場合は、競技本部で決定する。
- ④ 競技中の事故については、応急処置を行うがその責任は負わない。
出走選手は個人の責任において保険に加入すること。
- ⑤ 事前の会員登録手続きを済ませてない選手は、開会式会場で登録手続きを行う。
- ⑥ スキー場の利用に当たり一人ごとにリフト券(入場券付き)の購入が必要。
【8時間券 6,500円 補償金 1,000円含む】
- ⑦ 開会式の出席者は代表者のみで可。選手は任意にて出席。
- ⑧ 雪不足等による大会中止判断は、令和7年1月22日(水)正午までに行う。
- ⑨ 落雷時は競技を中断し、天候回復後に再開する。

30 ゲートボール

- 1 日 時 令和6年 9月8日(日)
監督会議 8:15
開 始 式 8:30
競技開始 9:00

2 会 場 宇佐市糸口ふれあいゲートボール場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

団体戦

(3) 競技方法

- ① (公財)日本ゲートボール連合公式競技規則及び大会申し合わせ事項を準用する。
- ② A(男子)・B(女子)パートに分け、それぞれ4コートで予選リーグを行い、各コートの1位・2位・3位・4位を決定する。
勝敗は1=勝率 2=得失点差 3=対戦済みの勝者とする。
- ③ 決勝は各パート別に、各コートの1位・2位・3位・4位グループ別によりトーナメントを行う。
- ④ 競技時間は30分とする。
- ⑤ *大会申し合わせ事項
悪天候の場合は、判定戦により勝敗を決定する。ただし、リーグ戦または決勝トーナメント戦の途中からは判定戦に切り替えることはしない。試合続行が不可能な場合は、中止とする。

(4) 参加方法

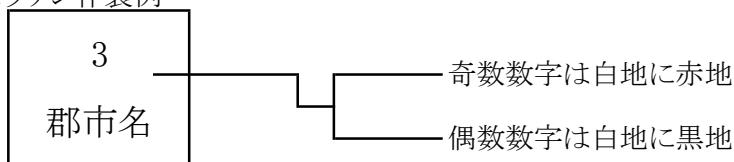
- ① 参加資格は、大分県ゲートボール協会の登録会員とする。
- ② 1郡市の出場チーム数は、男女それぞれ1チームまでで計2チームとする。
- ③ 1チームの常時出場競技者は、原則として70歳以上3名・70歳未満2名とするが、70歳未満の者が2名確保できない場合は、1名でも可とする。
- ④ チームの編成は、監督1名・、主将を含め競技者は8名とする。
※監督は、選手として出場できるものとする。
- ⑤ スティック・監督(主将)腕章は、各チームで準備すること。
- ⑥ 服装はチーム毎統一したものとし、胸背部に郡市名入りのゼッケンを付けること。
- ⑦ ゼッケンは、奇数数字は白地に赤字で、偶数数字は白地に黒字書きを原則とし、その数字の大きさは10cm×10cm以上とする。

(5) そ の 他

・審判員 ※参加申込書の備考欄に審判を入れる

各郡市選手団に1名以上の審判員の資格取得者を含むこと(参加申込書に必ず記載する。) 審判は、相互審判員制とする。但し、審判員はワッペンを着用のこと。

・ゼッケン作製例



3 1 ゴルフ

1 日 時 令和6年9月6日(金) 8:00スタート

2 会 場 久住高原ゴルフ倶楽部

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ① 団体の部 ② 個人の部

(3) 競技方法

① 競技は、日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。

② 18ホールストロークプレーとする。

③ 競技は全て、スクラッチ競技とする。

(4) 参加方法

・ 選手選出法 各郡市に一任

・ チーム編成 ※監督は、選手として出場できるものとする。

① 1チームは、監督1名、選手9名、補欠3名の計13名で編成する。

② 選手の中に55歳以上の者4名。70歳以上の者又は女子から2名以上を必ず加えること。

この年齢については、令和6年4月1日までに当該年齢に達すること。

(5) その他

・ 参加資格 大分県内に在住する社会人及び学生(大学生に限る)で、アマチュア競技者であること。

・ 選手の変更 選手の変更は、大会当日の午前7時30分までとする。

・ 組み合わせ 組み合わせは、昨年1位から4位までを除き抽選にて決定する。

組み合わせは、大会事務局において行い、組み合わせ発表後のスタート時刻の変更は認めない。但し、大会運営上必要と認められる場合は組み合わせを一部変更することがある。

・ 順位の決定

① 団体の部

9名中上位8名の合計によって決定する。ただし、8名の合計が同じ場合は、全員の合計によって順位を決定する。さらに同じ場合は、順次最小打数の者がいるチームを上位とする。

② 個人の部

各部門は年齢で区分し、55歳未満の部、55歳以上の部、70歳以上及び女子の部の3部門別の最小打数の者をメダリストとする。ただし、同スコアの場合はマッチングスコアカード方式によって決定する。

・ プレー料金(大会当日・練習日)

監督、選手(補欠を含む)については、開催日の2週間前から2回(原則として土・日・祝日を除く)開催コースの会員扱いとする。

※参考…… ① 大会当日 6,600円(税込)

② 練習日 6,900円(昼食付・税込)

※上記金額は、令和5年4月現在のものであり、変更になる可能性があります。

【2025年九州アマチュア選手権競技決勝大会出場選抜方法】

大分県民スポーツ大会ゴルフ競技、大分合同サーキットゴルフ選手権の優勝者2名で競技し、その競技の最小打数の者1名は2025年度の九州アマチュア選手権競技決勝大会(九州ゴルフ連盟主催)に出場できる予定である。但し、上記2競技において同じ者が優勝した場合は、その者を優先する。

・ 落雷時の対応について

サイレンによりプレーを中断し、天候回復後に再開する。

3 2 レスリング

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
監督会議 9:00
競技開始 10:00

2 会 場 日本文理大学附属高等学校(レスリング場)

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗

(2) 種 目

男子フリースタイル 団体戦

(3) 競技方法

- ① 試合はトーナメント方式で行う。
- ② 試合時間は、2分試合－1分休憩－2分試合とする。
- ③ 競技規則は、日本レスリング協会の規定に準ずる。

(4) 参加方法

- ① 5階級(66kg級・74kg級・84kg級・96kg級・96kg以上級)を1チームとし、監督1名、選手5名の計6名。
- ② 監督は、選手を兼ねることができる。
- ③ 参加希望者は、郡市スポーツ協会を經由して、県民スポーツ大会事務局あてに申し込むこと。

(5) そ の 他

計量は令和6年9月8日(日)9:00～9:30に会場で行う。

3 3 カヌー

- 1 日 時 令和6年 9月8日(日)
 監督会議 9月7日(土) 16:30
 開始式 9月8日(日) 9:00
 競技開始 9月8日(日) 9:30
- 2 会 場 山国川(中津市本耶馬溪町曾木) 特設カヌー場

3 実施要領

- (1) 種 別 郡市対抗
 (2) 種 目 (6種目)

性別	種 目		
男子	スラローム(5～7ゲート)	ワイルドウォーター(300m)	スプリント(200m)
女子	スラローム(5～7ゲート)	ワイルドウォーター(300m)	スプリント(200m)

(3) 競技方法

- ① 日本カヌー連盟競技規則及び審判・監督会議の申し合わせ事項により実施する。
- ② 郡市対抗として成立するには、6種目中女子1種目を含む3種目以上の参加がなければならない。
- ③ 参加選手数が最も多い種目の選手数を、全ての種目の1位の得点とし、2位以下は各種目の参加選手数により配分する。スタートしたがゴールできなかった選手には、1点を与える。スタートしなかった場合は0点とする。

$$\text{得点} = \text{最多参加選手種目の選手数} - \frac{(\text{最多参加選手種目の選手数} - 1)}{(\text{その種目の選手数} - 1)} \times (\text{順位} - 1)$$

※小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出する。

- ④ 都市対抗の順位は、各種目の得点合計により決定する。同点の場合は優勝数により決定。

(4) 参加方法

- ① 選手は一人1種目とする。
- ② 参加チームは監督1名、男子選手7名以内、女子選手4名以内、補欠男子1名以内、補欠女子1名以内、計14名以内とする。なお、監督は選手を兼ねることができる。
- ③ 各種目のエントリー数

- | | |
|---------------|------|
| A 男子スラローム | 3名以内 |
| B 男子ワイルドウォーター | 3名以内 |
| C 男子スプリント | 1名 |
| D 女子スラローム | 1名 |
| E 女子ワイルドウォーター | 2名以内 |
| F 女子スプリント | 1名 |

- ④ 種目間の選手変更及び種目への選手の追加は、総監督会議を期限とする。ただし、種目間の選手変更については、競技前日の審判・監督会議で了承されればその限りではない。
- ⑤ スラローム、ワイルドウォーターにおいてはライフジャケット、浮力体、ヘルメットを、また、スプリントにおいてはライフジャケットを必ず着用のこと。着用しない選手については出艇させない。

(5) その他

- ① 用具及び要艇
 各種目に使用する艇及びライフジャケット、パドル、ヘルメット等は、原則として、自艇参加とする。ただし、艇の借用希望があれば事前にカヌー協会に連絡すること。
- ② 競技前日は、コース設定後ゲートフリーとする。なお、競技当日は、ノンストップトレーニングは行わない。
- ③ 落雷時の対応について
 競技を中断し、天候回復後に再開するが、再開後の残りの種目の全員のレースが無理な場合
 - (1) 全郡市の終了している種目があれば、その種目で郡市対抗の順位を決定する。
 - (2) 全郡市の終了している種目が無ければ、中断した種目の残りの郡市のレースを行う。
 - (3) 全郡市の終了している種目が無く、天候の回復が難しく競技を再開できない場合は、全郡市記録なし(カヌー競技自体を中止)とする。

34 なぎなた

- 1 日 時 令和6年 9月7日(土)
役員会議 8:00～8:30
監督会議 8:30～9:00
審判会議 9:00～9:30
開始式 10:15
競技開始 10:30

- 2 会 場 レゾナック武道スポーツセンター (道場1)

3 実施要領

- (1) 種 別 郡市対抗

- (2) 種 目 ① 演技競技(郡市対抗競技) ② 試合競技(公開競技)

- (3) 競技方法

- ① 全日本なぎなた連盟審判規則による。
- ② 演技競技は1チーム3組までとし、チーム編成は監督・選手・補員を含め9名以内とする。
- ③ 選手はエントリー内で演技ペアを組み替えて出場することができる。
但し、一人2回までとし、1試合の中で同じペアが2回出場することはできない。
- ④ リーグ戦により、順位を決定する。勝数、勝者数、勝本数同数の場合は、負数、負者数、負本数で決定する。全て同数の場合は、直接対決戦の結果で決定する。
- ⑤ 指定の演技は、しかけ応じ1・4・5本目を行う。
- ⑥ 試合競技は、オープン参加とする。個人戦、男女別とする。
- ⑦ 試合時間は3分とし、勝敗の決定しない時は判定とする。
- ⑧ その他詳細については監督会議で決定する。

- (4) 参加方法

- ① 監督は選手兼任を可とする。
- ② 全国大会又はこれに準ずる大会に出場した者は参加できない。ただし、特例を認めることもある。
- ③ 演技競技は、男女で組んでもよい。
- ④ 年齢・段位の制限はしない。

- (5) その他

- ① 採点方法については大分県民スポーツ大会所定(主催者)の競技採点方式により決定する。
- ② 選手の登録に虚偽の申請があった場合はそのチームを失格とする。
- ③ 選手は上着の左胸に郡市名、姓の入ったゼッケン(縦13cm・横8cm)をつけること。防具には垂れネームを着けること。
- ④ 選手交代は申込者以外はできない。
- ⑤ 表彰については各種目3位までを表彰する。
- ⑥ 参加者は、大分県なぎなた連盟会員であり、令和6年度の登録を終了した者。

35 フェンシング

1 日 時 令和6年 9月8日(日)
監督会議 9:00
審判会議 9:30
開始式 9:45
競技開始 10:00

2 会 場 大分県立フェンシング場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子都市対抗 ② 女子(公開競技)

(2) 種 目

- ① 男子都市対抗(フルーレ団体)
② 女子:公開(非採点)競技(フルーレ団体)
③ 個人戦(3種目・公開競技)
・ フルーレ(男子・女子)
・ エペ(男子・女子)
・ サブール(男子・女子)

(3) 競技方法

- ① 国際フェンシング連盟(FIE)試合規則最新版を準用する。
② 団体戦のチーム編成は監督1名、選手5名の計6名以内とし、原則的に選手3名の紅白戦とする。ただし、監督は選手を兼ねることができる。
③ 都市対抗の順位は各都市のリーグ戦により決定する。チーム勝数、総勝者数、総突数、総突数から総被突数を引いた数が同じであった場合は代表戦で決定する。
④ 個人戦は、オープン参加とし、順位はトーナメント戦により決定する。
⑤ 個人戦の抽選は当日行う。
⑥ その他詳細については監督会議で決定する。

(4) 参加方法

- ① 参加希望者は、都市スポーツ協会を經由して、県スポ事務局へ申し込むこと。
② 受付(コール)は、午前9時より行う。

(5) その他

- ① 各自の武器は整備して参加すること。
② 危険防止のため、ユニフォーム、プロテクターは、必ず着用すること。
③ 必ずスポーツ保険に加入すること。

36 グラウンド・ゴルフ

1 日 時	令和6年	9月7日(土)	予備日9月8日(日)
	監督会議	9:40	
	リーダー説明	9:40	
	開始式	9:50	
	競技開始	10:00	

2 会 場 中津市ダイハツ九州スポーツパーク大貞芝生広場

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 団体戦

(3) 競技方法

- ① 日本グラウンド・ゴルフ協会競技規則を適用する。
- ② 各チームの出場選手数は5名以上・8名以下とし、3コース24ホールで行う。
- ③ 組合せは、実行委員会(主管団体)で作成する。
- ④ 打順は、ローテーション方式、2打目以降は順打で行う。
- ⑤ 記録(スコアカード)は、個人カードを使用する。

(4) 参加方法

- ① 参加資格は、大分県グラウンド・ゴルフ協会登録会員とする。
- ② チームの編成は、監督1名・選手8名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)

(4) その他

・順位決定

- ① チームの成績は、各チーム出場選手上位5名の合計打数とする。
- ② 合計打数の少ないチームを上位とする。
- ③ 合計打数が同じ場合は、チームの最小合計打数選手を比較し、少ない選手がいるチームを上位とする。これも同じ場合は、次の最小打数選手を比較する。以下同じ方法による。
- ④ 全員が全て同じ場合は、代表者による1ホール1打のニアピンプレーで決定する。

・表彰

1位から3位までを表彰する。

・落雷時の対応について

落雷時は競技を中断し、天候回復後に再開する。

37 綱引

1 日 時 令和6年 9月1日(日)

受付・計量 8:30

監督会議 9:10

開始式 10:00

競技開始 10:20

2 会 場 宇佐市立安心院中学校体育館

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目

- ① 男子ライトミドル級(出場8名の合計体重600kg以内)
- ② 女子フェザー級(出場8名の合計体重500kg以内)
- ③ 男女混合ライト級(出場8名の合計体重580kg以内)

(3) 競技方法

- ① 競技は予選リーグ戦(1本引)と順位決定リーグ戦(1本引)方式で行う。
- ② 競技規則は、(公社)日本綱引連盟規則に準じる。
- ③ 参加種目が最も多い部門の郡市数+1をすべての種目の1位得点とし、2位以下はその郡市数-1点とする。総合順位は、各種目の合計得点の多少により決定する。
※同点の場合は、部門出場数が多いチームを上位とする。

(4) 参加方法

- ① チーム編成は、各郡市とも男子チーム(監督1名、トレーナー1名、選手8名、交代要員2名の12名以内)、女子チーム(監督1名、トレーナー1名、選手8名、交代要員2名の12名以内)、男女混合チーム(監督1名、トレーナー1名、男子選手4名、女子選手4名、交代要員男子1名、女子1名の12名以内)とする。
- ② 監督・トレーナーは選手を兼ねることができる。
- ③ 一人一種目の出場とする。

(5) そ の 他

- ① 競技中の事故については応急処置は行うがその責は負わない。
- ② 表彰については、種目別3位までと総合3位までとする。

38 ボート

1 日 時 令和6年 9月8日(日)

監督会議 9:00 三隈川特設会場

開始式 10:00 //

競技開始 10:30 //

2 会 場 日田市三隈川特設会場

3 実施要領

(1) 種 別 男子郡市対抗(女子を含めても可)

(2) 種 目

①舵手つきフォア ②ダブルスカル ③シングルスカル

(3) 競技方法

① 日本ボート協会競漕規則により行う。

② 距離は各種目とも400mとする。

③ 競漕艇及びオールは協会で準備します。

(4) 参加方法

参加申込は、第77回大分県民スポーツ大会実施要項による。

※監督は選手兼任を可とする。

(5) 申 込 先

大分県民スポーツ大会実行委員会事務局

(6) そ の 他

落雷時は競技を中断し、天候回復後に再開する。

39 ホッケー

1 日 時 令和6年 9月8日(日)

監督会議 9:00

開始式 9:30

競技開始 10:00

2 会 場 メルヘンの森スポーツ公園ホッケー場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

- ① 男子 11人制ホッケー競技
- ② 女子 11人制ホッケー競技

(3) 競技方法

- ① 試合時間は男女とも30分ハーフとする。
- ② 競技規則は、令和6年度日本ホッケー協会11人制競技規則による。
- ③ 試合形式は、トーナメント戦とする。

(4) 参加申込

- ① 参加申込みは、第77回大分県民スポーツ大会実施要項による。
- ② 郡市単位で申込むこと。
- ③ 監督は選手兼任を可とする。

(5) そ の 他

- ① ユニフォームは各チームとも2着用意すること。
- ② スパイクは原則として使用しないこと。
- ③ 落雷発生時は競技中止とする。

40 ボクシング

1 日 時 令和6年 9月7日(土)・9月8日(日)

検診・計量 8:30

開始式 9:45

競技開始 10:00

2 会 場 県立鶴崎工業高等学校ボクシング場

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗

(2) 種 目

男子ライト・フライ級からミドル級まで7階級

(3) 競技方法

- ① 日本ボクシング連盟競技規則によって競技を行う。
- ② オープン戦方式で、1位、2位を決定する。
- ③ 各階級で2名以上参加の場合は、パートを分け、各パートの1位、2位を決定する。

(4) 参加方法

- ① 競技(練習)を開始して6ヶ月以上経過したもの。
- ② 令和6年度日本及び大分県ボクシング連盟に登録済みの者。
- ③ 監督は、選手として出場できるものとする。

(5) その他

- ①採点方法 大分県ボクシング協会所定の競技採点方式により、各競技種目別順位並びに総合順位を決定する。

4 1 スケート（第78回）

1 日 時 令和7年 月 日（ ） ※時間未定

競技開始 月 日（ ）

2 会 場 （未定）

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ① 男 子 500m、1000m

② 女 子 500m、1000m

(男女とも日本スケート連盟スピード競技特別規則に規定された1周100mの標準ショートトラックで行う。)

(3) 競技方法

- ① (公財)日本スケート連盟ショートトラック競技規則による。
- ② 各競技とも、タイムレースにより順位を決定する。

(4) 参加方法

・ 参加資格

- ① 大会参加規定による。
- ② 原則として、スポーツ安全保険等傷害保険に加入した者
- ③ 日本スケート連盟への登録は問わない。
- ④ 監督は選手兼任を可とする。

(5) その他

・ 用具及び装備

- ① 全てのスケーターは下記の用品用具を着用しなければならない。
- ② ヘルメットは、顎の下で結ぶことのできる安全なヘルメットとする。
- ③ 切り傷等の予防のため手袋またはミット・長袖で足の先まで覆われた衣服を着用する。

4 2 アイスホッケー(第78回)

1 日 時 令和7年 月 日() ※時間未定

競技開始 月 日()

2 会 場 (未定)

3 実施要領

(1) 種 別 男子都市対抗

(2) 種 目 6人制

(3) 競技方法 (公財)日本アイスホッケー連盟競技規則による。

(4) 参加方法

・参加資格

※日本アイスホッケー連盟及び大分県アイスホッケー連盟登録者、又は連盟が承認した者。

※監督は、選手として出場できるものとする。

4 3 馬術

1 日 時 令和6年 9月7日(土)
監督会議 9:30 (審判棟)
競技開始 10:00

2 会 場 恵藤建設馬術場(三重馬術場)

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目

- ① 低障害飛越B (クロスバーの障害)
- ② 小障害飛越C (H80以内)
- ③ 小障害飛越A (H100以内)

(3) 参加方法

- ① 同一種目の参加は、一人馬1回限りとする。
- ② 参加者は傷害保険に加入のこと。

(4) 競技方法

・審判規定

- ① 日馬連競技一般規定を準用する。ただし、競技者の変更、服装に関する規程を除く。
服装においてはできるだけ準ずるものとする。
- ② 監督は、選手を兼ねることができる。

(5) その他

・表 彰

各種目とも第3位まで表彰する。

・救護処置

競技中の事故については、応急処置は行うがその責は負わない。

・諸注意

- ① 馬料等は各自とする。
- ② 本大会要項は、当日監督会議で変更もあり得る。

・落雷時の対応について

競技を中断し、天候回復後安全を確認し再開する。

4 4 武術太極拳

1 日 時 令和6年9月8日(日)
会場設営 8:30
開始式 9:30
競技開始 10:00

2 会 場 県立芸術緑丘高等学校体育館

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗競技

(2) 種 目

- ① 個人総合太極拳(自選)
- ② ペア24式太極拳(自選)
- ③ 団体種目 [24式、総合、48式、 剣、扇、(楊、孫、呉、陳)式]

(3) 競技方法

- ① 競技ルールは各種目とも「公益社団法人日本武術太極拳連盟競技ルール」によるものとする。
- ② ペア種目については1ペア、団体種目についても1団体の表演とし、個人種目の総合太極拳は2名同時表演とする。

(4) 参加方法

- ①各郡市の編成は監督1名とし選手・補欠は以下の通りとする。
個人種目は男女各1名、ペア種目は1ペア、団体種目も各郡市 1種目とする(選手は3名以上10名以下)監督は選手兼任を可とする。補欠については各郡市2名とする
個人種目と団体種目の重複出場は可とする。
- ②参加希望者は、郡市スポーツ協会を経由して、県スポ事務局へ申し込むこととする。
- ③参加資格は、NPO法人大分県武術太極拳連盟の加盟団体に在籍している、大分県に在住する者とする。

(5) その他

① 採点方法

大分県民スポーツ大会所定(主催者)の競技採点方式により、各競技種目別順位並びに総合順位を決定する。

② 表 彰

各種目及び郡市総合成績 3位 までを表彰する。

X 競技別エントリー数一覧表

No.	競技団体名	総監督	男子			女子			その他	計
			監督	選手 (補欠等含)	その他 (マネージャー等)	監督	選手 (補欠等含)	その他 (マネージャー等)		
1	水 泳		1	24		1	16		42	
2	陸 上	1	1	19		1	10	7	39	
3	テ ニ ス		1	10		1	7		19	
4	体 操		1	5		オープン			6	
5	バスケットボール		1	12	2	1	12	2	30	
6	ウエイトリフティング		1	12					13	
7	卓 球		1	12		1	12		26	
8	軟式野球		1	19					20	
9	相 撲		1	9					10	
10	ハンド・ミントン	1		8			8		17	
11	弓 道		1	12		1	8		22	
12	ラグビーフットボール		1	25					26	
13	自 転 車		1	15			3		19	
14	ソフトテニス	1	男子6名、女子4名、男女不問8名、補欠6名(男女不問)							25
15	柔 道		1	8		1	5		15	
16	剣 道		監督1名、選手9名							10
17	山 岳	1		5			5		11	
18	サ ッ カ ー		1	18	1				20	
19	ソフトホッール		1	18	1	1	18	1	40	
	ソフトホッール(議員)		監督1名、コーチ1名、選手18名 ※公開競技							20
20	ハッレーホッール		1	15	2	1	15	2	36	
21	ハンドホッール		1	15	2	1	15	2	36	
22	ライフル射撃		1	5			4		10	
23	クレー射撃		監督1名、選手(トラップ3名、スキート3名)、補欠1名							8
24	銃 剣 道		監督1名、選手5名、補欠3名							9
25	ホッウリンク		監督1名、選手11名							12
26	セーリンク	1	1	12		1	5		20	
27	空 手 道	1		9			4		14	
28	アーチェリー		監督1名、選手9名							10
29	ス キ ー		1	5		1	4		11	
30	ケートホッール		1	8		1	8		18	
31	ゴ ル フ		1	12					13	
32	レスリンク		1	5					6	
33	カ ヌ ー	1		8			5		14	
34	なぎなた		監督1名、選手6名、補欠2名							9
35	フェンシング		1	5		1	5		12	
36	グラウンド・ゴルフ		監督1名、選手5名以上8名以内							9
37	綱 引		男子・女子各12名(監督1名、トレーナー1名、選手10名) 男女混合12名(監督1名、トレーナー1名、男子選手5名、女子選手5名)							36
38	ボ ー ト		監督1名、選手8名							9
39	ホ ッ ケ ー		1	12		1	12		26	
40	ボクシング		エントリー制限なし							/
41	ス ケ ー ト		エントリー制限なし							/
42	アイスホッケー		監督1名、選手20名							21
43	馬 術		エントリー制限なし							/
44	武術太極拳	1	個人種目 男子・女子各1名、ペア種目 2名、団体種目 10名以下 (※補欠2名)							17